

三重県競技力向上対策本部

第5回本部会議



平成29年4月18日（火）

ホテルグリーンパーク津

三重県競技力向上対策本部
第5回本部会議 資料目次

| | | |
|---|---|----|
| ○ 三重県競技力向上対策本部 第5回本部会議次第 | P | 3 |
| ○ 報告事項 | | |
| (報告事項1) 役員及び委員等の変更 | P | 7 |
| (報告事項2) 三重県競技力向上対策本部会議等の開催経過 | P | 9 |
| (報告事項3) 三重県競技力向上対策本部 第7回競技力向上対策委員会の概要 | P | 11 |
| (報告事項4) 第71回国民体育大会総合成績 | P | 12 |
| (報告事項5) 三重県競技力向上対策本部 各専門委員会の概要 | P | 14 |
| (報告事項6) 三重県競技力向上対策本部 第8回競技力向上対策委員会の概要 | P | 19 |
| (報告事項7) 三重県競技力向上対策委員会における審議決定事項 | P | 21 |
| (報告事項8) 三重県競技力向上対策本部事務局規定の変更 | P | 51 |
| ○ 審議事項 | | |
| (第1号議案) 平成28年度事業報告(案) | P | 55 |
| (第2号議案) 平成28年度収支決算(案) | P | 59 |
| (第3号議案) 平成29年度事業計画(案) | P | 61 |
| (第4号議案) 平成29年度収支予算(案) | P | 63 |
| ○ その他 | | |
| (情報共有事項1) 第76回国民体育大会三重県準備委員会 開催準備経過 (平成29年3月31日現在) | P | 67 |
| (情報共有事項2) 平成30年度全国高等学校総合体育大会 準備状況 (平成29年3月31日現在) | P | 71 |

三重県競技力向上対策本部 第5回本部会議式次第

平成29年4月18日(火)
ホテルグリーンパーク津
6階 藤・萩の間

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

- (報告事項1) 役員及び委員等の変更
- (報告事項2) 三重県競技力向上対策本部会議等の開催経過
- (報告事項3) 三重県競技力向上対策本部 第7回競技力向上対策委員会の概要
- (報告事項4) 第71回国民体育大会総合成績
- (報告事項5) 三重県競技力向上対策本部 各専門委員会の概要
- (報告事項6) 三重県競技力向上対策本部 第8回競技力向上対策委員会の概要
- (報告事項7) 三重県競技力向上対策委員会における審議決定事項
- (報告事項8) 三重県競技力向上対策本部事務局規定の変更

4 審議事項

- (第1号議案) 平成28年度事業報告(案)
- (第2号議案) 平成28年度収支決算(案)
- (第3号議案) 平成29年度事業計画(案)
- (第4号議案) 平成29年度収支予算(案)

5 その他

- (情報共有事項1) 第76回国民体育大会三重県準備委員会 開催準備経過
(平成29年3月31日現在)
- (情報共有事項2) 平成30年度全国高等学校総合体育大会 準備状況
(平成29年3月31日現在)

6 閉 会

報 告 事 項

報告事項 1

役員及び委員等の変更

| 選出区分 | 所属機関・団体・役職名 | 新 | 旧 |
|-----------------|------------------|-------|-------|
| 市長関係 | 三重県市長会会長 | 日沖 靖 | 大口 秀和 |
| 教育関係 | 三重県教育委員会教育長 | 廣田 恵子 | 山口千代己 |
| 産業・経済関係 | 三重県経営者協会会長 | 小倉 敏秀 | 岡本 直之 |
| | 三重県商工会議所連合会会長 | 岡本 直之 | 小林 長久 |
| 学校・スポーツ 団体関係 | 三重県高等学校体育連盟会長 | 辻 昭司 | 竹森 淳二 |
| 学識経験 | 日本体育大学体育学部教授 | 杉田 正明 | 勝田 隆 |
| 監事 | 三重県出納局副局長兼出納総務課長 | 中嶋 中 | 伊藤久美子 |

三重県競技力向上対策本部 会議等の開催経過

| 年月日 | 内 容 |
|-----------------|---|
| 平成23年 11月15日 | 県、県教育委員会、財団法人三重県体育協会の連名により、文部科学省、公益財団法人日本体育協会に開催要望書を提出しました。 |
| 平成24年 1月11日 | 公益財団法人日本体育協会理事会にて、平成33年第76回国民体育大会の開催地として内々定されました。 |
| 平成25年 5月29日 | 三重県競技力向上対策本部「設立会議」、「第1回本部会議」を開催しました。 |
| 6月 3日 | 三重県競技力向上対策本部「第1回競技力向上対策委員会」を開催しました。 |
| 11月19日 | 三重県競技力向上対策本部「第1回成年選手強化専門委員会」を開催しました。 |
| 12月13日 | 三重県競技力向上対策本部「第1回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。 |
| 12月16日 | 三重県競技力向上対策本部「第1回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。 |
| 平成26年 3月24日 | 三重県競技力向上対策本部「第2回競技力向上対策委員会」を開催しました。 |
| 4月22日 | 三重県競技力向上対策本部「第2回本部会議」を開催しました。 |
| 10月 1日 | 三重県競技力向上対策本部「第3回競技力向上対策委員会」を開催しました。 |
| 11月13日 | 三重県競技力向上対策本部「第2回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。 |
| 11月19日 | 三重県競技力向上対策本部「第2回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。 |
| 11月19日 | 三重県競技力向上対策本部「第2回成年選手強化専門委員会」を開催しました。 |
| 平成27年 3月19日 | 三重県競技力向上対策本部「第4回競技力向上対策委員会」を開催しました。 |
| 4月23日 | 三重県競技力向上対策本部「第3回本部会議」を開催しました。 |

| | |
|----------------|--|
| 9月 4日 | 三重県競技力向上対策本部「第5回競技力向上対策委員会」を開催しました。 |
| 11月4日 | 三重県競技力向上対策本部「第3回成年選手強化専門委員会」を開催しました。 |
| 11月16日 | 三重県競技力向上対策本部「第3回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。 |
| 11月25日 | 三重県競技力向上対策本部「第3回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。 |
| 平成28年 3月24日 | 三重県競技力向上対策本部「第6回競技力向上対策委員会」を開催しました。 |
| 4月18日 | 三重県競技力向上対策本部「第4回本部会議」を開催しました。 |
| 7月20日 | 公益財団法人日本体育協会理事会にて、平成33年第76回国民体育大会の開催地として内定されました。 |
| 9月14日 | 三重県競技力向上対策本部「第7回競技力向上対策委員会」を開催しました。 |
| 11月16日 | 三重県競技力向上対策本部「第4回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。 |
| 11月16日 | 三重県競技力向上対策本部「第4回成年選手強化専門委員会」を開催しました。 |
| 11月22日 | 三重県競技力向上対策本部「第4回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。 |
| 平成29年 3月23日 | 三重県競技力向上対策本部「第8回競技力向上対策委員会」を開催しました。 |

三重県競技力向上対策本部 対策委員会の概要
(第7回競技力向上対策委員会)

平成28年9月14日

・育成期における競技力向上対策事業の取組

①ジュニア選手及び少年選手の発掘・育成・強化に係る主な意見

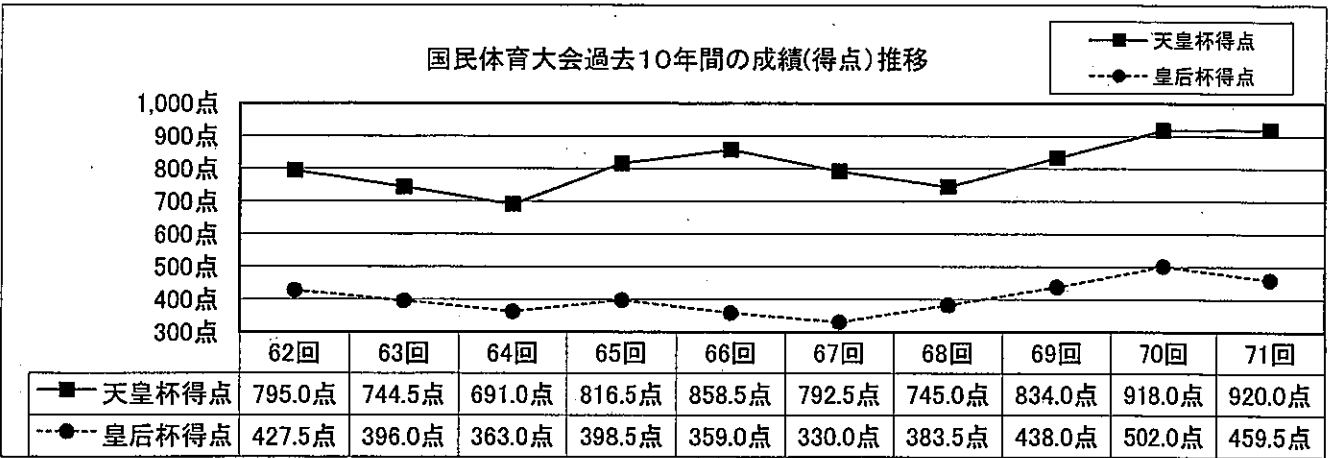
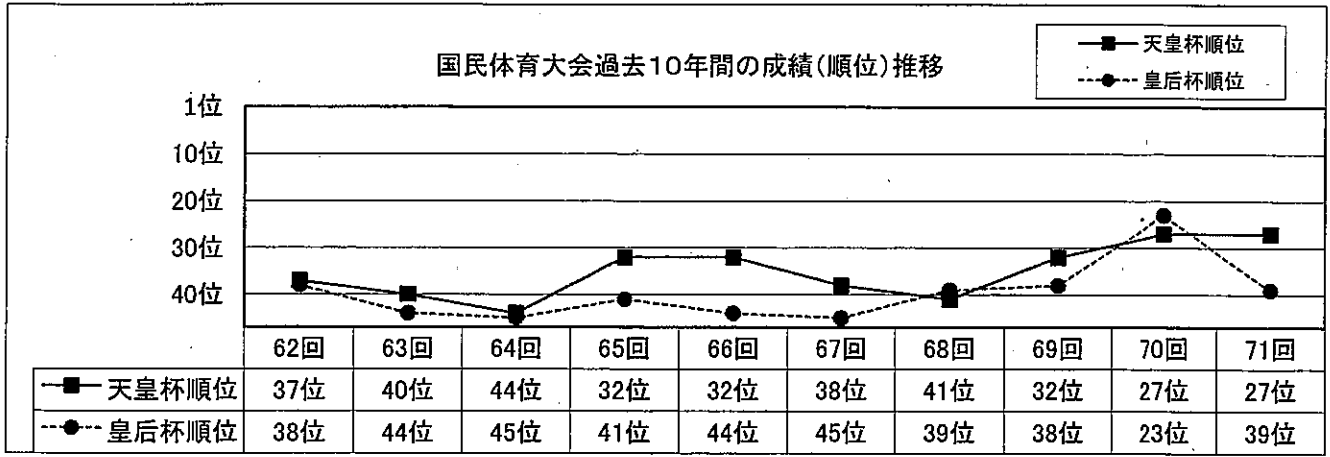
- ・特別コーチ派遣事業は、ジュニア・少年選手にとって憧れの選手が指導にあたることから、非常に効果的な事業である。単発でも効果は高いが、年間を通して派遣することでさらに効果は高まるため、年間コーチの人数を増やすべきである。
- ・スポーツ指導員配置事業は、ジュニア・少年選手の競技力向上に加え、指導者の資質向上も図られることから、計画的に拡充を図っていく必要がある。
- ・強化指定運動部が強化費を申請する強化活動の中には全国大会での活躍を目指した活動とは思えないような活動もあるため、強化計画の妥当性や有効性についても評価を行う必要がある。

②成年選手の育成・強化に係る主な意見

- ・「三重とこわか国体」において、天皇杯・皇后杯を獲得するためには、2,500点を獲得する必要があり、現在よりもおよそ1,600点の上積みが必要になる。ただし、県内企業の採用枠には限りがあるため、対策本部が競技毎の採用人数、採用年次、採用する選手のレベル等を種目横断的に見える化するとともに、定期的に軌道修正して取組を進める必要がある。
- ・トップアスリート就職支援事業については、「三重とこわか国体」から逆算してしっかりとしたグランドデザインを対策本部が描くことが必要である。そのうえで、「仮称：三重とこわか国体スカウト協議会」を発足させる等、スカウト体制の確立を行い、戦略的かつ計画的に取組を進めるべきである。
- ・県内企業での採用に加え、県や市町の職員として採用していただけるよう、関係団体に働きかけをしていくべきである。
- ・スポーツ施設の充実とともに、選手や指導者の目線でフレキシブルな利用が可能となるよう、県が中心となり、各市町にも働きかけていくべきである。

③その他の育成・強化に係る主な意見

- ・強化費は、広く薄く支給しても意味がないため、支給した強化費が実際に有効利用されているのかについて調査を行ったうえで、支給額については検討する必要がある。
- ・現在は、対策本部から一定額の強化費が支給され、それに応じて競技団体や運動部が強化計画を立案し、強化活動を行っているが、今後は競技団体や運動部が強化計画を立案し、その有効性や妥当性を対策本部が判断したうえで、強化費の支給額を決定する流れに変えるべきである。
- ・金銭的な支援も必要だが、それぞれが抱える課題を解決するような支援も必要である。例えば、勝負どころで勝ちきれないような競技団体には、メンタルトレーニングを取り入れるためのアドバイスや支援を行っていただけるとありがたい。



男女総合成績競技別一覧

| 競技順位 | 競技名 | 競技得点 | 参加点 | 合計 |
|------|------------|-------|-------|-------|
| 1 | ソフトテニス | 90.0 | 10.0 | 100.0 |
| 2 | レスリング | 51.0 | 10.0 | 61.0 |
| 3 | ウェイトリフティング | 82.0 | 10.0 | 92.0 |
| 6 | 相撲 | 21.0 | 10.0 | 31.0 |
| 7 | テニス | 24.0 | 10.0 | 34.0 |
| 11 | フェンシング | 24.0 | 10.0 | 34.0 |
| 11 | サッカー | 20.0 | 10.0 | 30.0 |
| 12 | 馬術 | 22.0 | 10.0 | 32.0 |
| 13 | 体操 | 15.0 | 10.0 | 25.0 |
| 14 | ラグビーフットボール | 20.0 | 10.0 | 30.0 |
| 14 | セーリング | 17.0 | 10.0 | 27.0 |
| 15 | ボウリング | 24.0 | 10.0 | 34.0 |
| 17 | 弓道 | 18.0 | 10.0 | 28.0 |
| 19 | 水泳 | 34.0 | 10.0 | 44.0 |
| 21 | スキー | 3.0 | 10.0 | 13.0 |
| 23 | 自転車競技 | 12.0 | 10.0 | 22.0 |
| 24 | 陸上競技 | 34.0 | 10.0 | 44.0 |
| 31 | ボート | 1.0 | 10.0 | 11.0 |
| 33 | カーヌー | 7.0 | 10.0 | 17.0 |
| 41 | ライフル射撃 | 1.0 | 10.0 | 11.0 |
| 小計 | 20競技 | 520.0 | 200.0 | 720.0 |
| | 他 20競技 | | 200.0 | 200.0 |
| | 40競技 | 520.0 | 400.0 | 920.0 |

女子総合成績競技別一覧

| 競技順位 | 競技名 | 競技得点 | 参加点 | 合計 |
|------|------------|-------|-------|-------|
| 3 | 馬術 | 15.0 | 10.0 | 25.0 |
| 5 | サッカー | 20.0 | 10.0 | 30.0 |
| 5 | ラグビーフットボール | 20.0 | 10.0 | 30.0 |
| 5 | レスリング | 2.5 | 10.0 | 12.5 |
| 6 | ソフトテニス | 30.0 | 10.0 | 40.0 |
| 10 | フェンシング | 15.0 | 10.0 | 25.0 |
| 13 | テニス | 3.0 | 10.0 | 13.0 |
| 14 | ウェイトリフティング | 2.0 | 10.0 | 12.0 |
| 33 | 陸上競技 | 9.0 | 10.0 | 19.0 |
| 33 | ライフル射撃 | 1.0 | 10.0 | 11.0 |
| 35 | 水泳 | 2.0 | 10.0 | 12.0 |
| 小計 | 11競技 | 119.5 | 110.0 | 229.5 |
| | 他 23 競技 | | 230.0 | 230.0 |
| | 34競技 | 119.5 | 340.0 | 459.5 |

平成28年度 主な全国大会の結果

1 全国高等学校総合体育大会

- (1) 入賞件数 (46件)
(2) 優勝一覧

○個人

| 競技 | 性別 | 種目 | 所属名 | 名前 |
|------------|----|------------------|---------|--------|
| 体操 | 男子 | 跳馬 | 暁 | 首藤 鴻英 |
| ウエイトリフティング | 男子 | +105kg級トータル | 四日市工業高校 | 横山 太偉雅 |
| | 男子 | +105kg級クリーン&ジャーク | 四日市工業高校 | 横山 太偉雅 |
| | 男子 | +105kg級スナッチ | 四日市工業高校 | 横山 太偉雅 |

2 全国中学校体育大会

- (1) 入賞件数 (13件)

3 国民体育大会

- (1) 入賞件数 (66件)
(2) 優勝一覧

○団体

| 競技 | 種別 | 種目 | 所属名 |
|--------|------|----|--------|
| ソフトテニス | 少年男子 | 団体 | 三重高校 |
| ボウリング | 少年男子 | 団体 | 津田学園高校 |

○個人

| 競技 | 種別 | 種目 | 所属名 | 名前 |
|------------|-------|------------------|------------|--------|
| 陸上競技 | 成年男子 | 走高跳 | AGF鈴鹿(株) | 衛藤 昂 |
| 水泳(競泳) | 少年男子B | 100m平泳ぎ | 四日市市立三滝中学校 | 谷口 卓 |
| セーリング | 成年男子 | レーザー級 | 三重県体育協会 | 南里 研二 |
| レスリング | 成年男子 | フリースタイル57kg級 | 総合警備保障(株) | 高橋 侑希 |
| | 成年男子 | フリースタイル61kg級 | 青山学院大学 | 成國 大志 |
| | 成年男子 | フリースタイル65kg級 | 山梨学院大学 | 藤波 勇飛 |
| | 少年男子 | フリースタイル66kg級 | いなべ総合学園高校 | 基山 仁太郎 |
| ウエイトリフティング | 成年男子 | 94kg級クリーン&ジャーク | 九州国際大学 | 太田 悠斗 |
| | 成年男子 | 85kg級スナッチ | 亀山高校 | 柳川 友章 |
| | 少年男子 | 85kg級クリーン&ジャーク | 亀山高校 | 柳川 友章 |
| | 少年男子 | +105kg級スナッチ | 四日市工業高校 | 横山 太偉雅 |
| 馬術 | 少年男子 | +105kg級クリーン&ジャーク | 四日市工業高校 | 横山 太偉雅 |
| | 成年女子 | 馬場馬術 | 名張乗馬クラブ | 奥西 真弓 |

4 その他

全国高等学校選抜大会優勝一覧

| 競技 | 性別 | 種目 | 所属名 |
|--------|----|----|------|
| ソフトテニス | 女子 | 団体 | 三重高校 |

三重県競技力向上対策本部 専門委員会の概要
 (第4回ジュニア・少年選手強化専門委員会)

平成 28 年 11 月 16 日

- ・ 第 71 回国民体育大会結果及び本年度競技力向上対策事業を踏まえた今後の取組
 - ① 下位入賞にとどまっている種目の競技点の上積みや、入賞の可能性のある種目が確実に入賞できる支援のあり方に係る主な意見
 - ・ 高等学校強化指定運動部において、強化体制が県内で統一されている競技は比較的安定して入賞している。
 - ・ 県内に有力校が複数ある場合でも、日頃から近隣校で集まり合同練習に取り組みながら、充実した形で国体に繋ぐことができる。
 - ・ 国体期間中において、選手は連泊や他校との集団生活となるため、そのような生活に不慣れであると試合にも影響し、十分な力が発揮できない。そのため、日頃から遠方での長期的な合宿を取り入れるなど、国体を想定した取組が必要である。
 - ・ 国体直前に強化練習等で選手にとっても過密なスケジュールとなる中で、ケガをさせてしまうケースがある。そのため、普段から定期的にトレーナーに診てもらふことや、国体にトレーナーを帯同してもらふことなどケガ防止対策が必要である。
 - ・ 食事・栄養面の指導や女子選手のケアについて、スポーツ栄養士や婦人科の方にアドバイスをもらうことや、選手に直接話をしてもらうような機会が定期的に持てるとよい。
 - ・ 監督やコーチ以外に戦略分析のためのスタッフや体調管理をするトレーナーなど国体に帯同してもらえらるスタッフの協力が得られるとよい。
 - ② 全国大会での入賞が遠のいている強化指定運動部を入賞レベルに引き上げるための強化指定のあり方に係る主な意見
 - ・ 実績の出た競技については、指導者の熱意、選手の確保ができる状況、活動環境が十分整っていたことが要因といえる。また、スポーツ指導員に指導してもらったことは少年選手の強化推進に大きく影響した。
 - ・ 東海ブロックを勝ち抜くために、国体選考会についても戦略を十分練ったうえで取り組む必要がある。
 - ・ 強化指定校については、それぞれの強化計画や活動の反省、振り返りが十分なされていない状況がある。そのため、各指定運動部の強化活動の課題が明確にされず、改善につながっていない現状にある。
 - ・ 強化活動について、全国大会での勝ち負けだけでなく、強化活動そのものの意義や効果など詳細に確認し、課題を明確にしたうえで改善をおこなう必要がある。
 - ・ 各競技団体で、国体に向けて何点の獲得を目標に強化をするのか、強化指定校と共有し、自覚を促す必要がある。
 - ・ 強化指定事業を旅費の補助事業としている感覚があるのではないか。強化費の使い方についても、十分検討を重ねたうえで計画書を作成する必要がある。

- ・高校運動部の中で、県外の中学生大会やジュニア大会の視察に取り組んでいる指導者がいる。そのことで他県の子どもたちや保護者にも三重県の競技の魅力をアピールすることができ、県内のジュニア選手の県外流出を防ぐことにつながる。ジュニア選手強化という視点からそのような活動の支援も前向きに検討していけるとよい。

③女子種別における入賞レベルへの引き上げや、安定した競技点につながる支援のあり方に係る主な意見

- ・高いレベルで競技をやりたいというジュニア選手が少ないように感じる。小学生期から高い目標を持たせることが必要ではないか。
- ・女子選手の育成は、競技力、技術力だけでなく、メンタル的なサポートが必要がある。
- ・女子選手については、選手同士の関係が密になればなるほど結果につながると感じる。チームとしての共同生活がなく、大会のためだけの選抜チームでは結果はのぞめない。
- ・技術指導はできるが、生徒のスイッチ入れられないで困っている指導者はいらる。定期的なカウンセリングを入れることで、女子選手の力を引き出すことができないか。
- ・指導者はカリスマ性を持っていないといけなると考える指導者が多いが、必要なのは選手のことを一番考える指導者であり、その思いは選手にも伝わる。

三重県競技力向上対策本部 専門委員会概要
(第4回成年選手強化専門委員会)

平成28年11月16日

第71回国民体育大会に係る成年選手の結果分析及び今後の取組について

①強化費の配分方法の見直しと支援のあり方に係る主な意見

- ・競技によっては、アマチュア選手だけでなく、プロ選手とも対戦する場合もあり、計画的に取り組まなければ対応できない。これまでの旅費・宿泊費といった遠征費だけでなく、選手のケアを行うサポート面も重要になっている。加えてターゲットエイジに向けた強化も行わなければならない。これらのことを自主的に計画し、事務局がそれに対して強化費を配分していくべきである。
- ・東海ブロック大会を勝ち抜くには、日本一になるほどの戦力が必要な場合があり、得点できないことから計画を出せない競技団体もあるので、担当者が深く関わっていく必要がある。
- ・強化費を獲得するために計画立案することは、競技団体の自覚や主体的な行動を促すと考えられる。
- ・配分の基準については、結果だけでなく、5年後を見据えた計画性、熱意といったところも評価項目とするべきである。

②成年選手の育成・強化の取組に係る主な意見

区分「A」「B」における取組について

- ・獲得得点を増やすためにも、今年度の得点と、中期的な計画的強化を評価に反映するべきである。
- ・「団体」と「個人」。団体においても「団体の団体」と「団体の個人」と競技によって状況は異なる。短期的な加点については、「個人」で獲得をめざすべきである。
- ・5年後にむけた中期の育成・強化を重要な評価の要素とするべきである。
- ・指導者の招聘や確保、育成が必要である。

区分「C」「D」における取組について

- ・国体への意識がまだまだ低いところもあるので、協会・連盟、現場の指導者の意識改革を行う必要がある。
- ・選手確保に向けた活動に競技団体は注力する必要があり、スカウト活動に対して、必要な支援をできるようにすべきである。
- ・競技団体と事務局がより連携を図り、選手確保を進める必要がある。
- ・メディアへの露出を増やし、国体への注目度を上げるべきである。

女子種別における取組について

- ・女子ラグビーにおける「PEARLS」の取組は、協会主体で行ったこともあり、様々な要因も合致し、好結果につなげることができた。特に、環境を整えられたことがよかったのではないかと。
- ・女子選手の確保は、男子選手よりも困難が予測される。しかし、公的機関への就職は魅力的であると考えられる。
- ・選手勧誘には時間が必要となることから、競技団体や事務局が連携し、早期に取り掛かる必要がある。
- ・女性指導者を増やすことも一つの方法として考えられる。

三重県競技力向上対策本部 専門委員会の概要
(第4回企業等連絡調整専門委員会)

平成28年11月22日

・ トップアスリート就職支援事業の計画的かつ着実な実施について

① 戦略的・計画的なスカウトに係る主な意見

- ・ 育成・強化に向けた中・長期の計画に目指す姿とロードマップをしっかりと書き込むことが大切である。どこを補強しないといけないのか、どういうアスリートを獲るのか等何をすべきかを見える化し、絵をしっかりと描く必要がある。
- ・ 実業団チームにおいても専属のスカウトを配置し、良いアスリートを獲てくると、採用後にそのアスリートを監督や現場が鍛えあげるという車の両輪のようなしっかりとした体制が必要である。監督一人でスカウトを兼ねると、時間が限られるので難しい。
- ・ アスリートを獲得するためには先を見据えながら、高校・大学の1・2年から声かけをはじめめる必要がある。他県と競合するので、三重県ならではのオリジナリティのある戦略を打ち出す必要がある。
- ・ 種目によって育成・強化にどれくらい時間をかけるのかバラツキがあることから、平成33年の三重とこわか国体で天皇杯・皇后杯を獲得するための取組や競技得点について、競技団体としっかりと話し合って考える必要がある。
- ・ 採用協力企業106社も雇用条件が全て同じではなく、試合や合宿に寛容な企業もあれば、定時勤務後の夜間練習や勤務前の早朝練習が基本の企業もあるので、採用協力企業の分類が必要である。採用協力企業の分類とアスリートを並べて、どのようにマッチングするか、貴重なポストをどう埋めるのかを戦略的に考える必要がある。
- ・ 雇用条件だけでなく、企業と住居と練習場所・練習時間を勘案してマッチングする必要がある。
- ・ 日本代表選手クラスになると合宿等で年間100日以上いないこともあるので、責任ある仕事を与えにくい。教職員の場合は、合宿等があっても、学校を休みにくいという実情があるので、アスリートのレベルによって、どの程度勤務が可能なのかを確認し、実情に応じたマッチングを行う必要がある。
- ・ アスリートの人生に責任を持ち、人に優しい採用やアスリートに対して温かい採用計画を全面に打ち出して、他県との差別化を図る必要がある。
- ・ 競技によっては、国体でもプロ化しており、インカレベスト8程度では、国体で勝てないので、インカレ優勝などトップを獲得するために、三重県の魅力をどのように伝えるかを考える必要がある。トップレベルは、東京・大阪を中心に多くいるので、強豪大学とのタイアップもしながら監督やアスリートに三重県へ実際に来てもらい、練習環境などを知ってもらう必要がある。
- ・ 次年度以降、年間50～60名程度のアスリート採用に向けて、採用協力企業106社をさらに増やしていく必要がある。
- ・ アスリートを受け入れる体力のある企業が商工会の中には少なく、北部に偏っているのが実情である。企業の社長の考え方や思いも聞きながら、アスリートが企業のことを理解できるよう採用協力企業の情報を充実させる必要がある。
- ・ 企業側には平成33年はまだまだ先だと考えているところもあり、国体のPR不足の

- ・ところもあるのではないかと。就職支援に関して、国体までの一時的な雇用と心配しているところもあるので、岐阜県の場合は8割が国体後も定着していることを企業側に浸透させる必要がある。また、天皇杯・皇后杯獲得に向け、平成33年までに沢山のアスリートを獲得しなければならないという課題を浸透させることが大切である。
- ・採用協力企業を県外企業へも拡げるにあたっては、経営者がアスリートの場合、理解が早く、上手くいくのではないかと。アスリート出身のオーナー企業を調べて、そこから攻めるのが効率的である。
- ・事務局内でアスリートの条件と採用企業の情報が見える化と類型化し、マッチングしやすくする必要がある。その情報を事務局内でしっかりと情報共有する必要がある。
- ・採用後にこんなはずではなかったとならないよう、アスリートが企業を選ぶ段階で、その企業のトップの考え方を見える化しておく必要がある。
- ・スカウト活動で一番大切なのは、アスリートの伸びしろの見極めとともに、採用後、如何に伸ばすかということが大切である。そのためには、三重県に来てよかったとアスリート自身が思わないと、伸びるものも伸びない。継続的なケアやフォローアップ体制など三重県らしさを打ち出し、他県との差別化を図る必要がある。
- ・伸びしろを見極め、どのアスリートを獲るかの決断は、監督やスカウトの直感や眼力を信じるしかない。ハートが強く、素直なアスリートは伸びしろがあるように思う。
- ・50名程度のアスリートを獲得するためには、その5～6倍の候補者から選定する必要がある。面談の時期に偏りがあり、他県と競合するので、限られた時間の中で、人員をフルに動員して選手獲得に臨む必要がある。
- ・アスリート側からすると、採用協力企業106社の中から、どう選んでよいのかわからないので、企業情報の中に採用する競技まで見える化した方が選びやすいと思う。現状では、採用協力企業との話し合いの中で、どの競技のどのレベルのアスリートを採用するかということまでは詰めていないので、雇用条件別に整理・分類して見える化する必要がある。

②採用後の競技活動の確保とフォローアップに係る主な意見

- ・アスリートや採用企業へのフォローアップを怠ると口コミですぐに広がる懸念がある。逆にフォローアップをしっかりと行うことで三重県の強みにできる。トップアスリート就職支援事業は、「チームみえ」として責任を持つプロジェクトであるので、ホットラインの開設や駆け込み寺的な相談体制の確立が必要である。採用して終わりでは良くない。
三重国体の後も含めてやるべきである。
- ・採用するだけでは、アスリートも採用企業も不安になるので、採用後の企業へ行って、様子を伺いながら話し合いの場を持つことが大切である。他の採用に響くことのないようにしないといけない。
- ・障がい者雇用でも同じであるが、ホットラインなどの相談体制をしっかりと行う必要がある。採用後のフォローアップを行い、定着を図る必要がある。
- ・採用数が少ないので、今はフォローアップを手厚くできていると思うが、今後、採用数が増えると今の人員体制では厳しいと思われる。マッチング優先になりがちであるが、フォローアップも競技団体・県・県体育協会などが一体となって、しっかりと行う必要がある。

三重県競技力向上対策本部 対策委員会の概要
(第8回競技力向上対策委員会)

平成 29 年 3 月 23 日

1 ジュニア選手及び少年選手の発掘・育成・強化に係る主な意見

- ・国民体育大会のサッカー競技はU-16のため、高校に入学してからチームを編成し、強化活動を始めては間に合わない。そのため、中学3年生時の冬季から強化活動を継続できるようにシステムを変更し、取り組んでいる。また、三重とこわか国体のターゲットエイジについては、計画的に強化を図るため、1泊2日の合宿を年に2回実施する等の取組を行い、国民体育大会に向けた意識の醸成にも努めている。
- ・高校進学については、どうしても本人や保護者の意向は強く、県外の有名私立高校への入学を止めきれていない状況にあるが、歯止めをかけるのであれば、各協会や連盟が三重とこわか国体等の全国大会に向けた強化方針やそれに伴う強化計画を確立し、県外の有名私立高校に進学しなくても全国大会で活躍できることをアピールしていくことが大切である。
- ・現在、強化指定運動部の指定を受けている運動部には、スポーツ特別選考の制度も設けて取組を支援している。今後は、この取組をさらに活用していただきたい。
- ・県内の公立高校が選手を勧誘できる時期には既に県外の私立高校等が勧誘を行っている実態をなんとかしてもらいたい。
- ・水泳競技の場合は、学校単位ではなく、連盟が主導して県外の有名私立高校に進学するのを防ぐ取組を行っている。具体的には、連盟が独自に強化指定選手制度を作成し、基準タイムをクリアしたジュニア・少年選手を一貫指導する体制を確立している。ここでは、年齢にとらわれることなく、競技レベルに応じた取組を行う等の取組も行っており、効果的である。
- ・「チームみえ」として国民体育大会を戦うためには、強化拠点に選手だけではなく、指導者や予算についても戦略的に投入する必要がある。
- ・少年選手については、育成・強化が基本であるが、それだけでは全国大会で入賞し続けることは難しい状況にある。本県は、特に県立高校が競技力向上の中心を担っているが、私立高校に強化を依頼すること等も含めて、何か抜本的な取組を検討していく必要がある。
- ・成年選手はスカウト活動と選手の強化がすべてであるが、少年選手は育成・強化が基本であるため、指導者の資質向上を図っていただきたい。そのためにも業務の軽減等を検討してもらいたい。

2 成年選手の育成・強化に係る主な意見

- ・男子選手と比較すると、女子選手の選手生命は短いため、どのタイミングで確保するかが課題である。また、選手確保後の練習環境や強化計画等についても準備しておく必要がある。
- ・県内の実業団チームとしては、本県出身選手をできる限り確保したいと考えているが、なかなか難しい現状であるため、本県の中学生や高校生に、実業団チームの練習に参加してもらい、憧れを持っていただくことで、将来的には県内の実業団チームで競技を続けたいという意識を高めてもらう取組を始めていきたい。
- ・育成・強化にはどうしても時間がかかるため、残された期間を考えると、計画的な選手補強が重要であり、そのためには全日本選手権やインカレといった全国大会は視察に行く必要がある。また、選手獲得後は強化練習だけでなく、メンタルトレーニングや栄養指導等も併せて行っていく必要がある。
- ・県内の大学の中には、三重とこわか国体の開催に向けた機運も高まってきているところもあるようなので、県にはぜひ県内の大学に対して強化の取組依頼をしていただきたい。
- ・県も職員採用を平成29年度より始めることから、ぜひ開催市町も職員の採用について前向きに検討していただけるように広報や依頼をしていく必要がある。また、職員採用については、選手を確保するだけではなく、練習環境や練習計画の充実といった受け入れ態勢づくりを競技団体がしっかりと行う必要がある。
- ・競技団体として強化計画のロードマップを作成しているところも多いと思うが、そこからさらに落とし込んで個人レベルのロードマップを作成していく必要性を感じている。
- ・企業チームでは、強化費については単年度ごとに0ベースで査定を行っており、強化推進計画に基づいて積み上げを行ったものに対して、経営企画室が査定を行うといった方式等を用いているようである。
- ・開催準備については県と市町では温度差はあまりないように感じるが、競技力向上についてはどうしても温度差があるように感じている。ただし、選手を職員として採用することにはメリットもあるため、県には広く広報してほしい。
- ・トップアスリート就職支援事業では、選手の確保はもちろんのこと、指導者の確保も必要に応じて進めていく必要があるように感じている。また、選手を勧誘する際は、大学4年生になってからではなく、大学2年生や3年生の時から計画的に行っていく必要がある。

報告事項7

平成29年3月23日
第8回競技力向上対策委員会決定

平成29年度三重県競技力向上対策事業一覧

| | 事業名 | 対象 |
|---|------------------------------|-----------|
| ① | チームみえジュニア育成事業 | ジュニア・少年選手 |
| ② | チームみえジュニア指定、指導者・保護者研修プログラム事業 | |
| ③ | ジュニアクラブ強化指定事業 | |
| ④ | 中学校運動部強化指定事業 | |
| ⑤ | 高等学校運動部強化指定事業 | |
| ⑥ | トップジュニア育成事業 | |
| ⑦ | 女性アスリートタレント発掘・育成事業 | |
| ⑧ | チームみえ国体選手強化事業 | 少年・成年選手共通 |
| ⑨ | トップ選手育成支援事業 | |
| ⑩ | 女性アスリートサポート事業 | |
| ⑪ | 大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業 | 成年選手 |
| ⑫ | 東京オリンピック競技大会等選手強化指定事業 | |
| ⑬ | トップアスリート就職支援事業 | |
| ⑭ | スポーツ指導員配置事業 | 指導者 |
| ⑮ | 強化指定運動部、チーム指導者研修事業 | |
| ⑯ | 特別コーチ派遣事業 | |
| ⑰ | 競技用具等整備事業 | 環境整備 |
| ⑱ | みえのアスリート応援・発信事業 | 広報啓発 |

チームみえジュニア育成事業 実施方針

平成29年度当初予算【15,640千円】

1 目的

将来有望なジュニア選手（小・中学生）を「チームみえジュニア」として育成することで、その強化活動を支援し、長期的な競技力の向上を図ることを目的とする。

2 対象

三重県体育協会加盟の国民体育大会正式競技である競技団体とする。

3 実施内容

- (1) 各競技団体が取り組む、将来有望なジュニア選手の育成活動（チームみえジュニア）を支援するため、必要な経費を配分する。
- (2) 強化費の配分については、各競技団体の強化計画と競技実績に応じた配分をする。また、三重とこわか国体に向けたジュニアの活動についても考慮する。その他、必要に応じてヒアリング等により調整を行う。
- (3) チームみえジュニアの育成に対して実施する強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

4 年間計画

- | | |
|------|-----------|
| 4月 | 強化費の配分額決定 |
| 5～3月 | 強化活動支援 |

チームみえジュニア指定、指導者・保護者研修プログラム事業 実施方針

平成29年度当初予算【1,496千円】

1 目的

全国大会等で活躍が期待できるジュニア選手（小・中学生）を「チームみえジュニア」として指定し、ジュニア選手の意識醸成を図るとともに、競技団体、指導者、保護者が一体となって、ジュニア選手の育成・強化を図ることを目的とする。

2 対象

県内競技団体からの推薦を受け、全国大会等で活躍が期待できるジュニア選手とその指導者・保護者とする。

3 実施内容

(1) 指定証の交付

指定するジュニア選手に対し、三重県競技力向上対策本部長（知事）から、「チームみえジュニア指定証」を交付する。

(2) 研修プログラム

①全体会

・「チームみえジュニア」としての意識醸成を目的とした研修を実施する。

②研修会

〔ジュニア選手・指導者対象〕

・選手間の交流を図るとともに、本県を代表する選手としての自覚を促すプログラムを実施する。

〔保護者対象〕

・ジュニア選手のサポート体制の充実を図るプログラムを実施する。

4. 年間計画

6～7月 「チームみえジュニア指定証」交付式、研修会の開催

ジュニアクラブ強化指定事業 実施方針

平成29年度当初予算【2,837千円】

1 目的

三重とこわか国体において、少年種別の中心となる中学生選手の育成・強化を目指し、その強化活動を支援することで、中学生選手の長期的な競技力の向上を図ることを目的とする。

2 対象

国民体育大会の正式競技で中学生選手が在籍する県内のジュニアクラブとする。

3 実施内容

(1) 指定期間

平成29年4月から平成30年3月までの単年度指定とする。

(2) 指定方法

各競技団体は、県内高等学校運動部との連携を図りながら、三重とこわか国体に向けた強化を進め、今後の活躍が期待できる中学生選手が所属するジュニアクラブを推薦することができる。三重県競技力向上対策本部は、推薦を受けたジュニアクラブを選考し、指定する。

(3) 補助対象

強化指定ジュニアクラブに対しては、全国大会での活躍を目的とした中学生選手の強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

4 年間計画

| | |
|------|----------------|
| 4月 | 強化指定ジュニアクラブの決定 |
| 5～3月 | 強化活動支援 |

ジュニアクラブ強化指定事業強化指定候補クラブ推薦要領

各競技団体は、本推薦要領に基づき、三重県競技力向上対策本部に強化指定ジュニアクラブを推薦することとする。

1 対象

国民体育大会の正式競技で中学生選手が在籍する県内のジュニアクラブとする。

2 推薦基準

県競技団体のジュニア選手の育成・強化方針の中に位置づけられ、三重とこわか国体に向けた競技力向上に寄与する見込みがあるジュニアクラブとする。

3 推薦方法

(1) 県競技団体は、推薦基準に基づき、該当するジュニアクラブと協議のうえ、1クラブを三重県競技力向上対策本部に推薦する。

(2) 推薦するジュニアクラブは、原則として男子、女子で区別し、いずれか1部とする。ただし、同じジュニアクラブにおいて男女合同で活動している場合は、実態に応じひとつのジュニアクラブとする。

※複数の拠点（教室・道場・支部等）で活動しているジュニアクラブでも、推薦ができるのは1拠点とする。

※推薦を受けたジュニアクラブにおいても、活動人数・活動状況の実態等が十分でないと認められる場合は、指定を行わないこともある。

【強化指定ジュニアクラブの考え方】

有力な中学生選手が複数在籍しており、過去3年間の全国大会で入賞実績があるジュニアクラブとする。また、県内高等学校とも連携を図りながら、三重とこわか国体に向けて、少年種別の候補選手となる中学生選手の育成・強化が十分見込めるジュニアクラブとする。

報告事項 7-③ その3

平成29年3月23日

第8回競技力向上対策委員会決定

平成29年度ジュニア強化指定クラブ

| 競技名 | ジュニアクラブ名 |
|------------|---------------------|
| 水泳（競泳） | 津田スイミングスクール四日市校 |
| 水泳（シンクロ） | みえシンクロ |
| 水泳（水球） | 三重ウォーターポロスターズ |
| 水泳（飛込） | 三重ダイビングクラブ |
| テニス | 三重グリーンテニスクラブ |
| ボクシング | 四日市ボクシングジム |
| 体操（競技） | 相好体操クラブ |
| レスリング | 一志ジュニアレスリング教室 |
| ウエイトリフティング | みえウエイトリフティングジュニアクラブ |
| 相撲 | 津相撲クラブ |
| フェンシング | 鳥羽フェンシングクラブ |

11クラブ

中学校運動部強化指定事業 実施方針

平成29年度当初予算【1,964千円】

1 目的

三重とこわか国体で少年種別の中心となる中学生選手の育成・強化を図り、その強化活動を支援することで、中・長期的な中学生選手の競技力向上を図る。また、高等学校運動部との連携を促し、ジュニア・少年選手の強化を行う。

2 対象

三重県中学校体育連盟（以下、「県中体連」という。）加盟の競技専門部に所属の中学校運動部とする。

3 実施内容

(1) 指定期間

平成29年4月から平成30年3月までの単年度指定とする。

(2) 指定方法

三重県競技力向上対策本部（以下、「対策本部」という。）は、県中体連が推薦する強化指定候補運動部について、三重県教育委員会と協議し、指定を行う。

※対策本部が必要と認めた場合は、指定する中学校運動部の追加、または指定の変更や取り消しを行うことがある。

(3) 補助対象

強化指定運動部に対して、全国大会等での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

4 年間計画

| | |
|-------|------------|
| 4月上旬 | 強化指定運動部の決定 |
| 4月～3月 | 強化活動の支援 |

中学校運動部強化指定事業強化指定候補運動部推薦要領

三重県中学校体育連盟（以下、「県中体連」という。）は本推薦要領に基づき、三重県競技力向上対策本部に中学校強化指定候補運動部を推薦することとする。

1 対象

国民体育大会の正式種目のうち、県中体連加盟の競技専門部に所属の中学校運動部とする。

2 推薦基準

県競技団体のジュニア選手の育成・強化方針の中に位置づけられ、三重とこわか国体に向けた競技力向上に寄与する見込みがある中学校運動部とする。

3 推薦方法

- (1) 県中体連の各競技専門部は、推薦基準に基づき、県競技団体および該当中学校と協議のうえ中学校運動部を県中体連に推薦する。
- (2) 推薦する中学校運動部は、原則として男子、女子で区別し、いずれか1部とする。ただし、同じ中学校において男女合同で活動している運動部については、実態に応じてひとつの運動部とする。

【強化指定推薦運動部の考え方】

全国中学校体育大会での入賞や東海中学校体育大会での優勝等の実績があり、三重とこわか国体に向けて、少年種別の候補選手となる中学生選手の育成・強化が十分見込める運動部とする。

報告事項7-④ その3

平成29年3月23日

第8回競技力向上対策委員会決定

平成29年度中学校強化指定運動部

| 競技名 | 男子 | 女子 |
|--------|------------------|-----------|
| 陸上競技 | 多気町松阪市学校組合立多気中学校 | |
| ソフトテニス | 紀宝町立矢淵中学校 | - |
| ソフトボール | - | 度会町立度会中学校 |
| バドミントン | - | 伊勢市立小俣中学校 |

4校4部

高等学校運動部強化指定事業 実施方針

平成29年度当初予算【19,990千円】

1 目的

三重とわか国体などの全国・国際スポーツ競技大会において活躍するトップアスリートの育成を目指して、育成・強化の中心となることが期待できる高等学校運動部を指定し、強化活動を支援することで、高校生アスリートの競技力向上を図ることを目的とする。

2 対象

次のいずれかに該当する高等学校運動部を対象とする。

- (1) 国民体育大会の正式競技であり、三重県高等学校体育連盟（以下、「県高体連」という。）に加盟する競技専門部、または三重県体育協会に加盟する競技団体（以下、「県競技団体」という。）に所属する高等学校運動部
- (2) 三重県高等学校野球連盟（以下、「県高野連」という。）に所属する高等学校硬式野球部

3 実施内容

(1) 指定期間

- ①指定期間は、三重県競技力向上対策基本方針に基づき、次の3期とする。
 - ・第1期：平成26年度～平成27年度（基盤・体制づくり期）
 - ・第2期：平成28年度～平成30年度（育成期）
 - ・第3期：平成31年度～平成33年度（躍進期）
- ②指定を受けた高等学校運動部は、原則として、各期の最終年度まで継続して指定し、各期の最終年度に、見直すこととする。
- ③指定期間内であっても、三重県競技力向上対策本部（以下「対策本部」という。）が必要と認めた場合は、指定する高等学校運動部の追加、または指定の取り消しを行うことがある。
- ④硬式野球競技については、単年度の指定とする。

(2) 指定方法

対策本部は、県高体連、または県高体連に競技専門部がない競技については、県競技団体から推薦を受けた高等学校運動部を指定候補として、三重県教育委員会（以下「県教委」という。）と協議したうえで、次のように指定する。

- ①指定候補について、活動状況や直近3年間の競技実績、指定期間中の全国大会における入賞の見込等を踏まえて、下記のとおり区分して指定する。また、この指定区分は、年度ごとに見直すこととする。
 - ・S強化指定運動部：全国大会において、上位入賞が期待できる運動部
 - ・A強化指定運動部：全国大会において、入賞が期待できる運動部
 - ・B強化指定運動部：全国大会において、将来、活躍が期待できる運動部

なお、指定候補であっても、活動状況や大会における実績等から、この方針の目的に合致しないと判断する場合は、指定しないことがある。

②指定候補以外でも、この方針の目的に合致すると認められる高等学校運動部を県高体連等と協議のうえ、指定することができる。

なお、硬式野球競技については、県高野連から、平成29年度に全国大会において活躍が期待できる高等学校硬式野球部の推薦を受け、対策本部が県教委と協議したうえで、「高等学校硬式野球特別指定運動部」として指定する。

(3) 補助対象

強化指定運動部に対して、全国大会等での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費に対する補助を予算の範囲内で行う。

4 年間計画

| | |
|-------|------------|
| 3月下旬 | 強化指定運動部の決定 |
| 4月 | 指定証交付式 |
| 4月～3月 | 強化活動の支援 |

高等学校運動部強化指定事業強化指定候補運動部推薦要領

1. 対象

下記のいずれかに該当する高等学校運動部を対象とする。

- (1) 国民体育大会の正式競技で、三重県高等学校体育連盟（以下、「県高体連」という。）に加盟する競技専門部、または三重県体育協会に加盟する競技団体（以下、「県競技団体」という。）に所属する高等学校運動部
- (2) 三重県高等学校野球連盟（以下、「県高野連」という。）に所属する高等学校硬式野球部

2 推薦基準

- (1) 三重とこわか国体などの全国・国際スポーツ競技大会において活躍するトップアスリートの育成に向けて、少年種別における強化の中心となることが期待できる高等学校運動部であること。
- (2) 硬式野球競技については、平成29年度に全国大会において活躍が期待できる高等学校硬式野球部であること。

3 推薦方法

- (1) 県高体連の各競技専門部は、推薦基準に基づき、県競技団体と十分協議のうえ、高等学校運動部を県高体連に推薦する。
- (2) 県高体連は、各競技専門部の推薦を取りまとめ、三重県競技力向上対策本部（以下、「対策本部」という。）に推薦する。
- (3) 県高体連に競技専門部がない競技については、県競技団体が推薦基準に基づき、対策本部に推薦する。
- (4) 推薦する高等学校運動部は、原則として、男子、女子で区別し、それぞれで1部とする。ただし、同じ高等学校で男子、女子ともに推薦基準を満たし、かつ、男女合同で活動している運動部については、男女を区別することなく、ひとつの運動部として推薦することができる。
- (5) 硬式野球競技については、県高野連が1部を上限に、対策本部に推薦する。

| | 競技名 | 強化指定運動部 | |
|----|---------------|---------|---------|
| | | 男子 | 女子 |
| 1 | 陸上競技 | 宇治山田商業 | |
| | | 四日市工業 | 松阪商業 |
| | | 久居 | — |
| | | 伊賀白鳳 | 四日市商業 |
| 2 | 水泳(競泳) | 津田学園 | |
| | | 尾鷲 | |
| | 水泳(飛込) | — | — |
| | 水泳(水球) | 四日市中央工業 | — |
| | | 稲生 | — |
| | 水泳(シクタイバドスミン) | — | — |
| 3 | サッカー | 四日市中央工業 | 三重 |
| 4 | テニス | 四日市工業 | 四日市商業 |
| 5 | ボート | — | — |
| 6 | ホッケー | 白子 | — |
| 7 | ボクシング | 久居 | |
| | | 明野 | — |
| 8 | バレーボール | 松阪工業 | 津商業 |
| | | | 三重 |
| 9 | 体操(競技) | 暁 | |
| | 体操(新体操) | — | — |
| 10 | バスケットボール | 四日市工業 | 四日市商業 |
| | | | いなべ総合学園 |
| 11 | レスリング | いなべ総合学園 | — |
| | | 朝明 | — |
| 12 | セーリング | 津工業 | — |
| 13 | ウエイトリフティング | 亀山 | |
| | | 四日市工業 | — |
| | | 四日市中央工業 | — |
| 14 | ハンドボール | 四日市工業 | 四日市商業 |
| 15 | 自転車 | 朝明 | — |
| 16 | ソフトテニス | 三重 | 三重 |
| 17 | 卓球 | 高田 | 高田 |
| | | 白子 | |
| 18 | 相撲 | 宇治山田商業 | — |
| 19 | 馬術 | 高田 | |
| 20 | フェンシング | 海星 | 津東 |
| 21 | 柔道 | 四日市中央工業 | — |
| | | 名張 | 名張 |
| 22 | ソフトボール | 四日市工業 | 伊勢学園 |
| | | | 津商業 |
| 23 | バドミントン | 皇學館 | |
| | | 暁 | |
| 24 | 弓道 | 松阪工業 | 伊勢学園 |
| 25 | ライフル射撃 | 久居 | |
| 26 | 剣道 | 三重 | 鈴鹿 |
| 27 | ラグビーフットボール | 朝明 | 朝明 |
| | | 四日市工業 | — |
| 28 | 山岳 | — | — |
| 29 | カヌー | 桑名西 | |
| 30 | アーチェリー | 四日市四郷 | |
| 31 | 空手道 | — | 四日市商業 |
| 32 | 銃剣道 | 皇學館 | — |
| 33 | クレール射撃 | — | — |
| 34 | なぎなた | — | 稲生 |
| 35 | ボウリング | 津田学園 | — |
| 36 | ゴルフ | 津田学園 | |
| | | 三重 | — |
| 37 | スケート | — | — |
| 38 | アイスホッケー | — | — |
| 39 | スキー | — | — |
| 40 | 軟式野球 | 高田 | — |
| 41 | 硬式野球 | 海星 | — |

計

68部

トップジュニア育成事業 実施方針

平成29年度当初予算【3,000千円】

1 目的

県民の皆さんからの寄附金を財源として、全国大会等で優秀な成績を収め、将来、国民体育大会やオリンピック等の大規模大会での活躍が期待されるジュニア選手を対象に、強化活動を支援することにより、選手の育成・強化を図ることを目的とする。

2 対象

国民体育大会やオリンピックの正式種目で、国内外の大規模な大会で活躍が期待できる県内中学校及び高等学校に在籍する選手とする。

3 実施内容

(1) 強化選手の指定

三重県競技力向上対策本部長（知事）は、競技団体の推薦を受けて、将来、国民体育大会やオリンピック等の大規模大会での活躍が期待される本県の中学生及び高校生の選手を強化指定する。

(2) 補助対象

強化指定選手に対しては、全国大会等での活躍を目的とした強化活動のうち、県外遠征等の旅費、宿泊費、消耗品費、使用料及び賃借料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が強化活動に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

4 年間計画

| | |
|--------|-----------------|
| 4月から随時 | 寄附金の募集 |
| 5月 | 第1次強化指定選手の推薦・選定 |
| 6月上旬 | 第1次強化指定選手の決定 |
| 9月 | 第2次強化指定選手の推薦・選定 |
| 10月上旬 | 第2次強化指定選手の決定 |

トップジュニア育成事業に係る「チームみえスーパージュニア」
指定候補選手推薦要領

1 対象

国民体育大会やオリンピックの正式種目で、国内外の大規模な大会で活躍が期待できる県内中学校および高等学校に在籍する選手とする。

2 推薦基準

全国大会で優秀な成績を収め、今後も全国大会や国際大会などの大規模な大会において活躍が期待され、次の基準を満たしている選手とする。

- (1) 平成28年度もしくは29年度の全国大会*¹で優勝、または、平成27年度の国際大会*²で3位入賞以上の実績があり、平成28年度に日本代表として国際大会*²への出場が決定（内定）している。
- (2) 団体競技は、平成29年度に日本代表として、国際大会*²に出場するなど、顕著な活躍が見られる選手も対象とする。
- (3) この他、平成29年度に特に顕著な実績を収めた選手がいる場合は、三重県競技力向上対策本部が別途指定する。

*1 全国大会

- ① 国民体育大会
- ② 全国中学校体育大会、ジュニアオリンピック
- ③ 全国高等学校総合体育大会
全国高等学校選抜選手権大会
- ④ ①・②・③と同じ競技レベルと認められる大会

*2 国際大会

- ① 世界ジュニア・ユース大会、
アジアジュニア・ユース大会
- ② ①と同じ競技レベルと認められる大会

3 推薦方法

- (1) 各競技団体は、上記2の推薦基準を満たすと判断できる場合、三重県競技力向上対策本部に対象となる選手を推薦することができる。
- (2) 県内に競技団体がないオリンピック正式種目のうち、上記2の推薦基準を満たすと判断できる場合は、所属する団体（クラブチーム等）より、三重県競技力向上対策本部に推薦することができる。

4 その他

指定選手の選考については、各競技団体等の推薦があった選手をもとに、競技実績・活動状況等により、三重県競技力向上対策委員会で行う。

女性アスリートタレント発掘・育成事業 実施方針

平成29年度当初予算【8,000千円】

1 目的

優れた資質を有する女子小中学生を発掘し、様々なプログラムを通じて育成することで、国民体育大会をはじめとした国内大会やオリンピック、ワールドカップなどの国際大会において活躍することができるアスリートの輩出を目的とする。

また、トップアスリートに必要な資質である高い意識や行動力を培うことで、社会生活の様々な場面でリーダーとして活躍できる人材として育成を図ることを目的とする。

2 対象（競技）

第71回岩手国体以降の女子種別において、新たに正式種目になる競技のうちの1競技とする。

3 実施内容

- (1) 三重県競技力向上対策本部が県関係者、市町関係者、スポーツ団体関係者、学識経験者、競技団体関係者（中央競技団体、県競技団体）、日本スポーツ振興センター等と連携した運営委員会を行うとともに、プログラム部会と選考部会を行う。
- (2) 運営委員会にて、事業の内容及び計画及びタレントの選考等を決定する。
- (3) プログラム部会にて、育成プログラムの内容及び計画等を決定する。
- (4) 選考部会にて、オーディションの実施及びタレントの選考原案の作成を行う。
- (5) 実施競技団体は事務局と連携し、主体的に事業を実施する。

4 年間計画

- 6月 第1回運営委員会「年間事業計画の決定」
 - 7月 タレントの募集開始（～9月末日）
 - 10月 1次オーディション実施
 - 11月 2次オーディション実施
 - 12月 第2回運営委員会「タレントの決定」
 - 1月 認定証授与式
- ※週3回程度の専門プログラムの継続実施
※年20コマ程度の教育・育成プログラムの継続実施

チームみえ国体選手強化事業 実施方針

平成 29 年度当初予算【81,981 千円】

1 目的

平成 29 年度愛媛国体において男女総合成績（天皇杯順位）10 位台の獲得と総合得点 1,100 点をめざすため、活躍が期待できる本県代表選手（チームみえ）に対し、重点的な強化に取り組むことを目的とする。

2 対象

三重県体育協会加盟団体のうち、国民体育大会の正式競技である競技団体とする。

3 実施内容

- (1) 各競技団体における事業計画書を基に、種別ごとに区分を行う。
- (2) A・B 群に区分された競技種別に対して、愛媛国体における競技成績の見込や強化計画等に基づき、重点的に強化費を配分し、競技団体が実施する国民体育大会に向けた強化活動を支援する。
- (3) 支援期間は一年間とするが、東海ブロック大会後、本国体後に必要に応じて強化計画の見直しを行う。
- (4) 各競技団体は、平成 29 年度愛媛国体、平成 30 年度福井国体で成果があげられるよう、本大会に重点を置いた強化活動を進めることとする。
- (5) 支援する経費は、旅費、宿泊費、消耗品費、使用料及び賃借料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費、全国トップレベルのチームの招聘に係る経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費とする。
- (6) C・D 群に区分された競技種別であっても、東海ブロック大会、本国体の競技成績によっては、強化費を配分することがある。

4 年間計画

| | |
|--------|---|
| 4 月 | 額の内示 強化計画に係る申請書の提出 実施事業の支援（4 月～東海ブロック大会～国体） |
| 7～10 月 | 国体の競技成績による強化計画の見直し 実施事業の支援（国体～3 月） |

※ 区分について

| | 区分の目安 | 取組 |
|-----|---|-----------------------------|
| A 群 | 安定して得点しており、平成 33 年まで引き続き得点が見込め、さらに上位入賞を狙うことができる競技、種別。 | さらに上位入賞を狙うために必要な取組を行います。 |
| B 群 | 国体で入賞レベルに達してきており、平成 29 年愛媛国体で入賞を狙うことができる競技、種別。 | 確実に入賞するために必要な取組を行います。 |
| C 群 | 本国体で 2～3 年先に確実に入賞できるレベルに到達することを狙う競技、種別。 | 中長期の計画的な取組を行います。 |
| D 群 | 強化体制の整備を必要としており、主体的な強化に取り組めるようにする必要がある競技、種別。 | 主体的に強化が図れるよう、自立にむけた取組を行います。 |

トップ選手育成支援事業 実施方針

平成 29 年度当初予算【17,987 千円】

1 目的

育成期において、各競技団体の年間を通じた選手強化や普及活動等を支援し、全国大会入賞レベル相当の競技力獲得及び競技普及を図ることを目的とする。

2 対象

三重県体育協会加盟団体のうち、国民体育大会の正式競技である競技団体とする。

3 実施内容

- (1) 各競技団体における事業計画書を基に、種別ごとに区分を行う。
- (2) C・D群に区分された競技種別に対し、三重とこわか国体に向けた強化計画や年度目標等に基づき、計画的に強化費を配分し、競技団体が実施する国民体育大会に向けた強化活動を支援する。
- (3) 支援期間は一年間とし、各競技団体が年間を通じて取り組む計画的な強化及び普及活動を支援する。
- (4) 各競技団体は、2～3年先に成果があげられるよう、計画的・戦略的に強化活動を進めることとする。
- (5) 支援する経費は、旅費、宿泊費、消耗品費、使用料及び賃借料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費、全国トップレベルのチームの招聘に係る経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費とする。
- (6) 東海ブロック大会、本国体において目覚ましい成果が見られた場合、チームみえ国体選手強化事業により、強化費を配分することがある。

4 年間計画

4月 額の内示

以降 強化計画に係る申請書の提出
実施事業の支援

※区分について

| | 評価の目安 | 取組 |
|----|---|------------------------------|
| A群 | 安定して得点しており、平成33年まで引き続き得点が見込め、さらに上位入賞を狙うことができる競技、種別。 | さらに上位入賞を狙うために必要な取組を支援します。 |
| B群 | 国体で入賞レベルに達してきており、平成29年愛媛国体で入賞を狙うことができる競技、種別。 | 確実に入賞するために必要な取組を支援します。 |
| C群 | 本国体で2～3年先に確実に入賞できるレベルに到達することを狙う競技、種別。 | 中長期の計画的な取組を支援します。 |
| D群 | 未成熟で強化体制の整備を必要としており、主体的な強化に取り組めるようにする必要がある競技、種別。 | 主体的に強化が図れるよう、自立にむけた取組を支援します。 |

女性アスリートサポート事業 実施方針

平成29年度当初予算【699千円】

1 目的

女性アスリートが競技を継続して取り組めるよう、女性特有の諸課題について女性アスリート、指導者及び保護者など関係者が知識習得や意識向上を図ることで、サポート体制の構築を図ることを目的とする。

2 対象

三重県体育協会加盟団体のうち、国民体育大会の正式競技である競技団体およびその団体に所属する女性アスリート、指導者及び保護者等とする。
(新たに正式競技として導入される競技を含む)

3 実施内容

女性アスリート、指導者及び保護者向けの研修会を開催し、女性アスリートが継続して競技に取り組むうえでの不安や悩みの解消に繋がる知識習得や意識向上を図る。

4 年間計画

6月～12月 女性アスリート、指導者、保護者向けの研修会実施

大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業 実施方針

平成29年度当初予算【9,999千円】

1 目的

三重とこわか国体において、天皇杯・皇后杯の獲得を目指すため、平成33年に各競技の成年種別で中心となり、且つ平成29年の愛媛国体以降に活躍が期待できるチームの指定を行い、成年選手の重点的な競技力向上を図ることを目的とする。

2 対象

国民体育大会の正式競技に取り組んでいる大学運動部、企業・クラブチーム等（以下、「チーム」という。）とする。

3 実施内容

(1) 指定期間

平成29年4月から平成30年3月までの期間とする。

(2) 指定基準

三重とこわか国体に向けて、競技団体が強化の中心として位置づけ、国民体育大会での活躍が期待できるチーム。ただし、次の①～③に該当するチームで、競技団体が主体となるチームを除く。

- ① 団体競技（チームスポーツ）は、国民体育大会（東海ブロック大会を含む）のエントリー数の半数以上を占めているチーム。
- ② 団体競技（チームスポーツを除く）は、団体チームとして大会に出場しているチーム。
- ③ 個人競技は、複数の選手が在籍するチーム。

(3) 指定方法

強化指定チームについては、三重県競技力向上対策本部が所属競技団体と協議を行ったうえで、三重県競技力向上対策委員会において決定する。

【A強化指定】

三重とこわか国体で中心となり、平成29年の愛媛国体において入賞できるチーム。

【B強化指定】

三重とこわか国体で中心となり、平成29年の愛媛国体において入賞が期待できるチーム。

【C強化指定】

①三重とこわか国体で中心となり、三重とこわか国体において入賞が期待できるチーム。

②国民体育大会（東海ブロック大会を含む）に出場できていない成年種別において、前年度に新たにチーム結成を行い、三重県代表として出場するチーム。

(4) 補助対象

指定されたチームには、全国大会での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、指導者の報償費、施設使用料、強化練習の一貫として参加する大会参加料、消耗品費、医科学スタッフ、技術指導スタッフ等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

4 年間計画

5月 指定証交付
随時 強化活動支援

報告事項7-⑪ その2

平成29年3月31日
競技力向上対策委員会決定

平成29年度大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業に係る強化指定チーム

【A強化指定】

| | チーム名 | 競技名 |
|---|--------------|------------|
| 1 | AGF陸上競技部 | 陸上競技 |
| 2 | NTN陸上競技部 | 陸上競技 |
| 3 | 相好体操クラブ | 体操 |
| 4 | 名張乗馬クラブ | 馬術 |
| 5 | 北勢ライディングファーム | 馬術 |
| 6 | PEARLS | ラグビーフットボール |

【B強化指定】

| | チーム名 | 競技名 |
|----|--------------|--------|
| 7 | デンソー女子陸上長距離部 | 陸上競技 |
| 8 | 三重バイオレットアイリス | ハンドボール |
| 9 | エクセディ卓球部 | 卓球 |
| 10 | 株式会社安永弓道部 | 弓道 |

【C強化指定】

| | チーム名 | 競技名 |
|----|---------------|--------|
| 11 | ヴィアティン三重 | バレーボール |
| 12 | 三重県警察（ライフル射撃） | ライフル射撃 |
| 13 | 三重県警察（剣道） | 剣道 |
| 14 | クレイン東海 | 馬術 |
| 15 | 三重県警察（柔道） | 柔道 |
| 16 | 皇學館大学（柔道） | 柔道 |

東京オリンピック競技大会等選手強化指定事業 実施方針

平成29年度予算【1,800千円】

1 目的

全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートを強化指定し、合宿や強化練習等の支援を行うことで、本県への帰属意識を高めるとともに、東京オリンピック競技大会及び三重とこわか国体等に向けた成年選手の競技力向上を推進することを目的とする。

2 対象

三重とこわか国体における正式競技に取り組んでいる大学生及び社会人で、次に掲げる条件を満たす者とする。

- ① 「チームみえ」の一員として、三重とこわか国体での活躍が特に期待できる者
- ② 東京オリンピック競技大会や世界選手権大会等の世界大会での活躍が期待できる者

ただし、東京オリンピック競技大会の正式競技以外の競技に取り組んでいる選手については、条件①のみを満たすこととする。

3 実施内容

- (1) 強化指定選手の決定については、別途定める「東京オリンピック競技大会等選手強化指定事業 選考要領」において、三重県競技力向上対策本部が行う。
- (2) 指定については、平成29年4月から平成30年3月までの単年度指定とする。
- (3) 補助対象については、全国・国際スポーツ大会での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、施設使用料、強化練習の一貫として参加する大会参加料、消耗品費、医科学スタッフ、技術指導スタッフ等の経費の支援を予算の範囲内で行う。

4 年間計画

- 4月 強化指定選手の選考及び決定
- 5月 強化指定証交付式
- 随時 強化活動支援

報告事項7-⑫その2

平成29年3月23日

第8回競技力向上対策委員会決定

東京オリンピック競技大会等選手強化指定事業に係る強化指定選手

| | 名前 | 年齢 (学年) | 所属 | 専門競技 | 指定枠 |
|---|-------|------------|--------|------------|-------|
| 1 | 藤波 勇飛 | 20 (3年) | 山梨学院大学 | レスリング | 継続指定枠 |
| 2 | 石井 未来 | 19 (2年) | 東京国際大学 | ウエイトリフティング | 継続指定枠 |
| 3 | 城山 聖羅 | 19 (2年) | 東洋大学 | 相撲 | 継続指定枠 |
| 4 | 成國 大志 | 19 (2年) | 青山学院大学 | レスリング | 新規指定枠 |
| 5 | 向田 真優 | 19 (2年) | 至学館大学 | レスリング | 新規指定枠 |

*年齢及び学年は、平成29年4月1日現在のものとする。

東京オリンピック競技大会等選手強化指定事業 選考要領

1 目的

この要領は、三重県競技力向上対策本部が「東京オリンピック競技大会等選手強化指定事業」に係る強化指定選手を選考するために、必要な事項を定めるものとする。

2 選考委員等

- (1) 選考委員は、三重県競技力向上対策委員会の委員とする。
- (2) 選考の事務局は、三重県競技力向上対策本部内に設置する。
- (3) 選考の依頼は、三重県競技力向上対策本部事務局長が行う。

3 選考基準

選考は、「東京オリンピック競技大会等選手強化指定事業実施方針」の目的及び対象を踏まえることとし、選考にあたっては、次の点に留意するものとする。

なお、大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業の指定チームに所属する者、スポーツ指導員配置事業の指導員、勤務している企業から強化費の支援を受けている者については対象外とする。

【継続指定枠】

平成28年度に指定を行った者で、三重県代表選手の一員として平成29年度愛媛国体（以下、「愛媛国体」という。）以降の大会において入賞が見込める者

【新規指定枠】

- ①平成28年度に開催された全日本選手権大会において3位以上の成績を収めた者で、三重県代表選手の一員として愛媛国体以降の大会において入賞が見込める者
- ②全国高等学校総合体育大会及び国民体育大会において優勝した者で、三重県代表選手の一員として愛媛国体以降の大会において入賞が見込める者

4 選考方法

選考委員は、強化指定候補選手について、三重とこわか国体や東京オリンピック競技大会等での活躍が期待される強化指定候補選手の実績や今後の期待度を総合的に判断し、選考を行うこととする。

なお、決定には、選考委員の過半数の同意を必要とする。

トップアスリート就職支援事業 実施方針

平成29年度当初予算【14,500千円】

1 目的

全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートに対し、県内企業への就職支援を行うことで、三重とこわか国体において天皇杯・皇后杯を獲得するとともに、大会終了後も安定した競技力を確保することを目的とする。

2 対象選手

三重とこわか国体の正式競技に取り組んでいる選手及び指導者で、次に掲げる条件のいずれかを満たし、採用後は「チームみえ」の一員として国民体育大会において入賞、もしくは入賞に導く能力を有する者とする。

- ① 国民体育大会や全日本選手権大会もしくはこれらに準ずる大会に出場し、個人・団体ともに8位以上の成績を収めた者
- ② 本県の成年選手の競技力向上に必要な存在であり、三重県競技力向上対策本部が特別に認めた者

※成績については、高等学校卒業後のものに限ることとする。

3 対象企業

県内に本社または事業所を有し、全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートを採用する意思のある企業とする。

4 実施内容

- (1) 三重とこわか国体に向けた成年選手強化に係る取組を県内企業に説明し、トップアスリートの採用依頼を行う。
- (2) 求人・求職に係る情報の管理を行う。
- (3) 競技団体から推薦のあったトップアスリートに対し、エントリーシートをもとに、書類審査を行う。
- (4) 社業と競技活動の両立が図れるよう、トップアスリートに対し、面談を行う。
- (5) 企業及びトップアスリートにとって有益なマッチングが図れるよう、調整を行う。
- (6) 企業及びトップアスリートに推薦者・推薦企業の打診を行う。
- (7) 採用選考の調整を行う。
- (8) トップアスリートが培ってきた知識や経験を発揮するとともに、競技活動にも集中して取り組めるよう、企業に対し、フォローアップを行う。

5 年間計画

| | |
|-----|---------------|
| 4月～ | トップアスリートの採用依頼 |
| 随時 | 求人・求職に係る情報の管理 |
| | 面談の実施 |
| | マッチングの調整 |
| | 推薦者・推薦企業の打診 |
| | 採用選考の調整 |
| | フォローアップの実施 |

スポーツ指導員配置事業 実施方針

平成29年度当初予算【19,121千円】

1 目的

全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートを、競技団体が実施する強化練習や合宿等に派遣することで、本県選手の競技力向上を図るとともに、現役のトップアスリートとして成年選手の競技力向上を図ることを目的とする。

2 対象

三重とこわか国体の正式競技に取り組んでいる現役の成年選手で、次に掲げる条件のいずれも満たし、採用後は「チームみえ」の一員として国民体育大会において入賞、もしくは入賞に導く能力及び指導力を有する者とする。

①国民体育大会や全日本選手権大会もしくはこれらに準ずる大会に出場し、個人は3位以上、団体は8位以上の成績を収めた者

②将来、本県選手の指導者としての活躍が期待できる者

※本県の成年選手の競技力向上に必要な存在であり、三重県競技力向上対策本部が特別に認めた者については、上記の限りではないこととする。

※成績については、高等学校卒業後のものに限ることとする。

3 実施内容

(1) スポーツ指導員の採用については、三重県競技力向上対策本部及び三重県体育協会が競技を行ったうえで決定する。

(2) 三重県体育協会は、指導員の勤務管理を行うとともに、本県選手の競技力向上を図るため、スポーツ指導員を競技団体が実施する強化練習や合宿等の活動現場に派遣する。

(3) スポーツ指導員の活動に係る旅費については、予算の範囲内で支出する。

4 年間計画

4月 協定書の締結

4月～ 日々の活動現場及び強化練習や合宿等の活動現場への派遣

強化指定運動部、チーム指導者研修事業 実施方針

平成 29 年度当初予算【1, 195 千円】

1 目的

平成 29 年度に強化指定する運動部、チームの指導者に対し研修を実施することで、専門競技の異なる指導者との連携を図るとともに、指導者としての資質の向上を図ることを目的とする。

2 対象

平成 29 年度に強化指定する運動部、チームの指導者とする。

3 実施内容

- (1) 本事業においては、県内研修会において、最新の指導理論や指導方法を習得するとともに、専門競技の異なる指導者との連携を図り、本県競技力向上の中核を担う指導者としての意識の醸成を図る。
- (2) 指定する指導者のうち、希望する指導者には、中央競技団体や国立スポーツ科学センター等が実施する県外の研修会、セミナー及びトップレベルの指導現場等での研修への参加を支援する。県外研修に関しては、1 人 1 回とする。
- (3) 指定する指導者には、県内研修及び県外研修会に参加する旅費、宿泊費の経費を予算の範囲内で支出する。

4 年間計画

| | |
|----------|-------|
| 5 月 | 指定証交付 |
| 6 月～12 月 | 県内研修 |
| 随時 | 県外研修 |

特別コーチ派遣事業 実施方針

平成29年度当初予算【2,978千円】

1 目的

全国・国際スポーツ大会で活躍した選手、もしくは優れた指導実績を持つ指導者を競技団体に派遣することで、三重とこわか国体に向けて、指導者の指導力向上や選手のパフォーマンスの向上を図り、国民体育大会における競技得点の獲得を目指すことを目的とする。

2 対象

国民体育大会の正式競技である競技団体とする。

3 実施内容

- (1) 三重県競技力向上対策本部は、特別コーチの派遣を希望する競技団体を対象に競技力の状況及び本事業における計画等を総合的に判断したうえで、派遣する競技団体を選考する。
- (2) 実施競技団体は、8～10競技団体とし、年1～2回重点的に指導するワンポイントコーチ、または年間を通じて指導する年間コーチを派遣する。
- (3) 実施競技団体は、特別コーチによる強化練習会や合宿等の計画を立て、実施する。
- (4) 特別コーチに対しては、旅費・報償費の経費を予算の範囲内で支出する。

4 年間計画

| | |
|------|---------------|
| 4月 | 特別コーチ派遣競技団体決定 |
| 5～3月 | 特別コーチ派遣 |

競技用具等整備事業 実施方針

平成29年度当初予算【7,000千円】

1 目的

三重とこわか国体に向けて競技力向上を図るとともに、大会終了後の全国大会等において安定した競技力を確保するため、強化活動に必要な競技用具等を整備することを目的とする。

2 整備対象競技

本事業により、競技用具等を整備する競技は、国民体育大会における正式競技とする。

3 整備対象競技用具等

- (1) 高額等の理由により、個人や競技団体に整備することが困難なもの。
- (2) 競技用具等が整備されておらず、新たに整備する必要があるもの。
- (3) 既存の競技用具等が、規格外、老朽化、性能不足等の理由により、改めて整備する必要があるもの。
- (4) 競技力向上のために数が不足しているもの。
- (5) その他、競技力向上に必要と認められるもの。

4 実施内容

- (1) 前出要件を満たす競技用具等の整備に係る要望を競技団体から募集する。
- (2) 競技団体からの要望について、競技特性、用具の特殊性、見積価格、ヒアリングの内容、現地調査を総合的に精査し、適当と認めた競技用具等を県が購入する。
- (3) 競技団体に対して県が購入した競技用具等を貸し付ける。
- (4) 貸し付けした競技用具等について、競技団体は責任を持って管理するとともに、引渡し、維持、修繕及び返納に要する費用を負担する。

5 年間計画

- | | |
|----|-----------------------|
| 4月 | 要望申請の提出 |
| 5月 | 選定委員会の設置、整備対象競技用具等の決定 |
| 6月 | 整備対象競技用具等の購入、貸付申請書の提出 |
| 随時 | 整備した競技用具等の実地調査 |

みえのアスリート応援・発信事業 実施方針

平成29年度当初予算【3,521千円】

1 目的

本県代表として活躍するアスリートを幅広く情報発信することで、スポーツを「みる」「支える」人との一体感を醸成することを目的とする。

2 実施内容

(1) 広報紙の作成

県内で活躍しているアスリートを幅広く情報発信できるよう、広報紙の作成を行う。年2回程度発行を行う。

〔配布先〕

- ・県内の小・中・高等学校の児童生徒
- ・県内のスポーツ関連施設
- ・イベント等

(2) チームみえ啓発物の作成

県代表選手の活躍を啓発できるよう、チームみえのロゴ等を使用した啓発物の作成を行う。

- ・県代表選手及びスタッフポロシャツ
- ・応援用グッズ等

3 年間計画

- | | |
|------|--------------------|
| 5月 | 「輝くみえのアスリートNEWS」発行 |
| 8～9月 | チームみえ啓発グッズ等作成 |
| 10月 | 「輝くみえのアスリートNEWS」発行 |

三重県競技力向上対策本部事務局規定の変更

| | |
|-------|--|
| (変更前) | 第2章 第4条3 事務局次長は、三重県地域連携部 <u>競技力向上推進監</u> をもって充てる。 |
| (変更後) | 第2章 第4条3 事務局次長は、三重県地域連携部スポーツ推進局 <u>競技力向上対策課長</u> をもって充てる。 |
| (変更前) | 第2章 第4条4 出納員は、三重県地域連携部スポーツ推進局 <u>スポーツ推進課班長</u> をもって充てる。 |
| (変更後) | 第2章 第4条4 出納員は、三重県地域連携部スポーツ推進局 <u>競技力向上対策課課長補佐兼班長</u> をもって充てる。 |
| (変更前) | 第2章 第4条5 事務局員は、三重県地域連携部スポーツ推進局 <u>スポーツ推進課</u> の職員をもって充てる。 |
| (変更後) | 第2章 第4条5 事務局員は、三重県地域連携部スポーツ推進局 <u>競技力向上対策課</u> の職員をもって充てる。 |

審 議 事 項

平成28年度事業報告（案）

1. 会議の開催と審議、協議の内容について

| 開催年月日 | 会議名 | 主な審議、協議内容 |
|----------------|---------------------|--|
| 平成28年 4月18日 | 第4回本部会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・役員及び委員等の変更（報告） ・三重県競技力向上対策本部会議等の推進経過（報告） ・第5、6回競技力向上対策委員会の概要（報告） ・第70回国民体育大会 総合成績（報告） ・三重県競技力向上対策本部 各専門委員会の概要（報告） ・三重県競技力向上対策委員会における審議決定事項（報告） ・平成27年度事業報告、収支決算 ・平成28年度事業計画、収支予算 |
| 9月14日 | 第7回競技力向上対策委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・委員の変更（報告） ・三重県競技力向上対策本部 会議等開催経過（報告） ・三重県競技力向上対策本部 第6回競技力向上対策委員会の概要（報告） ・国民体育大会第37回東海ブロック大会等の結果（報告） ・平成28年度全国高等学校総合体育大会の結果（報告） ・平成28年度全国中学校体育大会の結果（報告） ・平成28年度競技力向上対策関連事業の進捗状況（報告）・育成期における競技力向上対策事業の取組（協議） |
| 11月16日 | 第4回ジュニア・少年選手強化専門委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・第71回国民体育大会結果及び本年度競技力向上対策事業を踏まえた今後の取組（協議） |
| 11月16日 | 第4回成年選手強化専門委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・第71回国民体育大会に係る成年選手の結果分析及び今後の取組について（協議） |

| | | |
|----------------|---------------------|--|
| 11月22日 | 第4回企業等連絡調整 専門委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・第71回国民体育大会に係る成年選手の 結果分析及び今後の取組について (協議) |
| 平成29年 3月23日 | 第8回競技力向上対策委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・三重県競技力向上対策本部 会議等開催 経過 (報告) ・三重県競技力向上対策本部 第7回競技 力向上対策委員会の概要 (報告) ・三重県競技力向上対策本部 各専門委員 会の概要 (報告) ・第71回国民体育大会における総合成績 (報告) ・第71回国民体育大会における三重県選 手団に係る入賞一覧 (報告) ・平成28年度競技力向上対策事業の実施 報告及び成果 (報告) ・女性アスリートタレント発掘・育成事業 に係る進捗状況 (報告) ・平成29年度三重県競技力向上事業 (案) について (審議) ・育成期に2年目における競技力向上の取 組について (協議) |

2. 選手の育成・強化について

| 実施時期 | 競技力向上の取組 | 具体的取組 |
|-------------------------|-------------------------------------|---|
| 平成28年4月 ～ 平成29年3月 | チームみえジュニア指定、 指導者・保護者研修プロ ラム事業 | 将来活躍が期待できるジュニアアスリート 655名を「チームみえジュニア」として 指定し、選手や指導者・保護者への研修会を 実施 ・チームみえジュニア指定証交付式 平成28年7月3日(日) 鈴鹿医療科学大学白子キャンパス |
| 平成28年7月 ～ 平成29年3月 | トップジュニア育成事業 | 国内外の大規模な大会で活躍するジュニア 選手9名を「チームみえスーパージュニア」 として指定し、強化活動を支援 |
| 平成28年4月 ～ 平成29年3月 | チームみえ国体選手強化 事業 | 岩手国体10位台、1100点を目標とし て、入賞の可能性のある競技種別を指定し、 その強化活動を支援 |
| 平成28年4月 ～ 平成29年3月 | トップ選手育成支援事業 | 競技団体が行う年間を通じた選手の強化活 動や競技の普及活動等を支援 |
| 平成28年6月 ～ 平成29年3月 | 女性アスリートタレント 発掘事業 | 優れた資質のあるジュニア選手を発掘し、教 育プログラムや専門プログラムを実施し、世 界大会で活躍する選手を育成 |
| 平成28年4月 ～ 平成29年3月 | 大学運動部、企業・クラブ チーム強化指定事業 | 〔A強化指定チーム〕 ・伊賀フットボールクラブくノ一 ・相好体操クラブ ・北勢ライディングファーム 〔B強化指定チーム〕 ・三重バイオレットアイリス ・NTN陸上競技部 ・エクセディ卓球部 ・三重県警察(柔道) ・AGF陸上競技部 ・名張乗馬クラブ ・三重県警察(射撃) ・PEARLS 〔C強化指定チーム〕 ・三重県警察(剣道) ・名鉄乗馬クラブ・クレイン東海 ・皇學館大学柔道部 ・株式会社安永弓道部 〔特別指定1〕 ・デンソー女子陸上長距離部 |

| | | |
|-------------------------|------------|---|
| 平成28年4月 ～ 平成29年3月 | 成年選手強化指定事業 | 全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリート5名を強化指定選手として指定し、強化活動を支援 |
|-------------------------|------------|---|

3. 指導者の養成について

| 実施時期 | 競技力向上の取組 | 具体的取組 |
|-------------------------|--------------------|--|
| 平成28年5月 ～ 平成29年3月 | 強化指定運動部・チーム指導者研修事業 | 平成28年度に強化指定されている運動部、チームの指導者に対する研修 (県内研修:2回 テーマ:スポーツ心理学) ・第1回 平成28年7月5日(火) ・第2回 平成28年12月13日(火) (県外研修:12名) |
| 平成28年4月 ～ 平成29年3月 | 公認スポーツ指導者養成事業 | 国民体育大会の監督に必要となる公認スポーツ指導者資格取得のための支援 (5競技 10名) |
| 平成28年5月 ～ 平成29年3月 | 特別コーチ派遣事業 | 全国・国際スポーツで活躍した選手、もしくは優れた指導実績を持つ指導者を競技団体の強化活動に派遣。 (実施団体:9競技団体) 〔年間コーチ:2競技団体〕 軟式野球、クレール射撃 〔ワンポイントコーチ:7競技団体〕 ソフトボール、テニス、バドミントン、スキー、空手道、陸上競技、なぎなた |

4. 広報・啓発について

| 実施時期 | 競技力向上の取組 | 具体的取組 |
|-------------------------|-----------------|---|
| 平成28年4月 ～ 平成29年3月 | みえのアスリート応援・発信事業 | ・広報誌「輝くみえのアスリートNEWS」の配布(各種会議、中学校、イベント配布) 「三重から発信!未来のトップアスリート応援募金」チラシの配布(各種企業・団体、各種会議、イベント配布) |

平成28年度収支決算書

第2号議案

1 収入

(単位:円)

| 科 目 | 当初予算額 | 補正予算額 | 補正後予算額 | 決算額 | 補正後予算額 との増減 | 説 明 |
|------|-------------|------------|-------------|-------------|----------------|--------|
| 負担金 | 130,148,000 | △2,769,000 | 127,379,000 | 122,605,598 | △4,773,402 | 三重県負担金 |
| 収入合計 | 130,148,000 | △2,769,000 | 127,379,000 | 122,605,598 | △4,773,402 | |

2 支出

(単位:円)

| 科 目 | 当初予算額 | 補正予算額 | 補正後予算額 | 決算額 | 補正後予算額 との増減 | 説 明 |
|------|-------------|------------|-------------|-------------|----------------|------------------------------------|
| 事業費 | 1,726,000 | 0 | 1,726,000 | 1,333,404 | 392,596 | 本部会議、委員会、 専門委員会開催経費 |
| | 1,401,000 | 0 | 1,401,000 | 1,284,966 | 116,034 | チームみえジュニア 指定、指導者・保護 者研修プログラム |
| | 3,000,000 | △1,200,000 | 1,800,000 | 1,538,910 | 261,090 | トップジュニア育成 |
| | 75,673,000 | 0 | 75,673,000 | 74,247,060 | 1,425,940 | チームみえ国体選手 強化 |
| | 19,291,000 | 0 | 19,291,000 | 18,927,372 | 363,628 | トップ選手育成支援 |
| | 6,002,000 | △1,569,000 | 4,433,000 | 3,960,148 | 472,852 | 女性アスリートタレ ント発掘 |
| | 13,009,000 | 0 | 13,009,000 | 12,886,178 | 122,822 | 大学運動部、企業・ クラブチーム強化指 定 |
| | 1,500,000 | 0 | 1,500,000 | 856,693 | 643,307 | 成年選手強化指定 |
| | 1,972,000 | 0 | 1,972,000 | 1,838,285 | 133,715 | 強化指定運動部、チ ーム指導者研修 |
| | 330,000 | 0 | 330,000 | 150,000 | 180,000 | 公認スポーツ指導者 養成 |
| | 2,562,000 | 0 | 2,562,000 | 2,401,940 | 160,060 | 特別コーチ派遣 |
| | 3,670,000 | 0 | 3,670,000 | 3,176,710 | 493,290 | みえのアスリート応 援・発信 |
| 事務局費 | 12,000 | 0 | 12,000 | 3,932 | 8,068 | 事務局費 |
| 支出合計 | 130,148,000 | △2,769,000 | 127,379,000 | 122,605,598 | 4,773,402 | |

監 査 報 告

平成28年度における収支決算に関する証拠書類と諸帳簿について監査したところ、その内容が適正であったことを認めます。

平成29年 4 月 13 日

監 事


三重県出納局副局長

中 嶋 中 

平成29年 4 月 13 日

監 事

三重県体育協会監事

立 藤 三千洋 

三重県競技力向上対策本部

本部長 鈴木 英敬 様

平成29年度事業計画（案）

1 会議の開催について

- (1) 本部会議
- (2) 競技力向上対策委員会
- (3) 専門委員会
 - ① ジュニア・少年選手強化専門委員会
 - ② 成年選手強化専門委員会
 - ③ 企業等連絡調整専門委員会

2 選手の育成・強化学業について

- (1) ジュニア・少年選手
 - ① チームみえジュニア指定、指導者・保護者研修プログラム事業
 - ② トップジュニア育成事業
 - ③ 女性アスリートタレント発掘・育成事業
- (2) 少年選手・成年選手共通
 - ① チームみえ国体選手強化学業
 - ② トップ選手育成支援事業
- (3) 成年選手
 - ① 大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業
 - ② 東京オリンピック競技大会等選手強化指定事業
 - ③ トップアスリート就職支援事業

3 指導者の養成事業について

- (1) 強化指定運動部、チーム指導者研修事業
- (2) 特別コーチ派遣事業

4 環境整備

- (1) 競技用具等整備事業

5 広報啓発について

- (1) みえのアスリート応援・発信事業

平成29年度三重県競技力向上対策実施事業

| | 事業名 | 対象 |
|---|------------------------------|-----------|
| ① | チームみえジュニア育成事業 | ジュニア・少年選手 |
| ② | チームみえジュニア指定、指導者・保護者研修プログラム事業 | |
| ③ | ジュニアクラブ強化指定事業 | |
| ④ | 中学校運動部強化指定事業 | |
| ⑤ | 高等学校運動部強化指定事業 | |
| ⑥ | トップジュニア育成事業 | |
| ⑦ | 女性アスリートタレント発掘・育成事業 | |
| ⑧ | チームみえ国体選手強化事業 | 少年・成年選手共通 |
| ⑨ | トップ選手育成支援事業 | |
| ⑩ | 女性アスリートサポート事業 | |
| ⑪ | 大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業 | 成年選手 |
| ⑫ | 東京オリンピック競技大会等選手強化指定事業 | |
| ⑬ | トップアスリート就職支援事業 | |
| ⑭ | スポーツ指導員配置事業 | 指導者 |
| ⑮ | 強化指定運動部、チーム指導者研修事業 | |
| ⑯ | 特別コーチ派遣事業 | |
| ⑰ | 競技用具等整備事業 | 環境整備 |
| ⑱ | みえのアスリート応援・発信事業 | 広報啓発 |

第4号議案

平成29年度収支予算（案）

1 収入

（単位：千円）

| 科 目 | 本年度当初予算額 | 前年度当初予算額 | 比較増減額 | 説 明 |
|-------|----------|----------|-------|--------|
| 負 担 金 | 136,166 | 130,148 | 6,018 | 三重県負担金 |
| 計 | 136,166 | 130,148 | 6,018 | |

2 支出

（単位：千円）

| 科 目 | 本年度当初予算額 | 前年度当初予算額 | 比較増減額 | 説 明 |
|-------|----------|----------|---------------|--|
| 事 業 費 | 1,963 | 1,726 | 237 | 本部会議、委員会、専門委員会開催経費 |
| | 1,496 | 1,401 | 95 | チームみえジュニア指定、指導者・保護者研修プログラム |
| | 3,000 | 3,000 | 0 | トップジュニア育成 |
| | 83,767 | 75,673 | 8,094 | チームみえ国体選手強化 |
| | 18,433 | 19,291 | △858 | トップ選手育成支援 |
| | 8,000 | 6,002 | 1,998 | 女性アスリートタレント発掘 |
| | 9,999 | 13,009 | △3,010 | 大学運動部、企業・クラブチーム強化指定 |
| | 1,800 | 1,500 | 300 | 東京オリンピック競技大会等選手強化指定（H28年度事業名：成年選手強化指定） |
| | 1,195 | 1,972 | △777 | 強化指定運動部、チーム指導者研修 |
| | 0 | 330 | △330 | 公認スポーツ指導者養成 |
| | 2,978 | 2,562 | 416 | 特別コーチ派遣 |
| 3,521 | 3,670 | △149 | みえのアスリート応援・発信 | |
| 事務局費 | 14 | 12 | 2 | 事務費 |
| 計 | 136,166 | 130,148 | 6,018 | |

そ の 他
(情報共有事項)

第 76 回国民体育大会三重県準備委員会 開催準備経過
(平成 28 年度分)

○デモンストレーションスポーツ実施競技選択及び会場地市町第一次選定

下表のとおり、10 市町 12 競技が選定されました。

| | 実施予定競技 | 会場地市町 | 競技団体 | 競技会場予定施設 |
|----|-----------|-------|-------------------|---------------------|
| 1 | ウォーキング | 尾鷲市 | 三重県ウォーキング協会 | 三重県立熊野古道センター周辺 |
| 2 | ウォークラリー | 度会町 | (一社)三重県レクリエーション協会 | 宮リバー度会パーク周辺 |
| | | 御浜町 | 御浜町体育協会 | 御浜町内特設会場 |
| 3 | エアロビック | 鈴鹿市 | 三重県エアロビック連盟 | A G F 鈴鹿体育館 |
| 4 | カローリング | 大紀町 | 大紀町スポーツ推進委員協議会 | 大宮中学校・大宮小学校 |
| 5 | キンボールスポーツ | 伊賀市 | 三重県キンボールスポーツ連盟 | 三重県立ゆめドームうえの |
| 6 | 健康体操 | 松阪市 | 三重県健康体操連絡協議会 | さんぎんアリーナ |
| 7 | ソフトバレーボール | 川越町 | 川越町体育協会 | 川越町総合体育館 |
| 8 | 日本拳法 | 松阪市 | 三重県日本拳法連盟 | 松阪牛の里オーシャンファーム武道館 |
| 9 | パークゴルフ | 東員町 | 三重県パークゴルフ協会連合会 | 東員町中部公園パークゴルフ場 |
| 10 | ペタンク | 松阪市 | 三重県ペタンク協会 | 嬉野グラウンド又は松ヶ崎公園グラウンド |
| 11 | ユニカール | 尾鷲市 | 三重県ユニカール協会 | 尾鷲市体育文化会館 |
| 12 | ラジオ体操 | 紀宝町 | 紀宝町体育協会 | 紀宝町深田運動場 |

※ 今回の選定を含めた会場地市町選定状況は、別紙地図のとおりです。

現在は、第二次募集を平成 28 年 12 月～平成 29 年 5 月（予定）まで実施しています。

○大会マスコット愛称の選定

マスコットの愛称については、「とこまる」に決定しました。



「とこまる」

入賞者は、「津市 おおにし 大西 あんな 杏奈さん 8歳」に決定しました。

○大会会期

三重とこわか国体にかかる大会会期の三重県案を以下のとおり報告しました。今後、平成29年6月に（公財）日本体育協会に三重県案3案を提出し、平成30年7月の日本体育協会理事会で大会会期が決定されます。

| | | | | | | |
|-----|-------|-----|--------|---|-----|--------|
| 第1案 | 平成33年 | 9月 | 25日(土) | ～ | 10月 | 5日(火) |
| 第2案 | 平成33年 | 9月 | 26日(日) | ～ | 10月 | 6日(水) |
| 第3案 | 平成33年 | 10月 | 2日(土) | ～ | 10月 | 12日(火) |

(希望順位は第1案～第3案の順)

○イメージソングの公募を実施中

第76回国民体育大会（三重とこわか国体）への認知や理解から、協力・参加につなげていくため、さらに県民や来県される皆さんが楽しみ、親しみを感じていただけるものとするため、イメージソングを制作することとし、その歌詞および曲を募集しています

・募集期間

平成29年2月1日(水)～4月28日(金)

・スケジュール(予定)

平成29年 5月～6月 広報・県民運動専門委員会等における選定

7月 常任委員会で審議・決定

8月～ 編曲および歌唱者の選定

○その他審議決定事項

第76回国民体育大会にかかる「宿泊基本方針」「宿泊基本計画」「輸送・交通基本計画」「医事・衛生基本方針」「医事・衛生基本計画」について審議し、決定しました。

これまでの会場地選定状況による一覧(地図)

別紙

平成29年3月27日現在

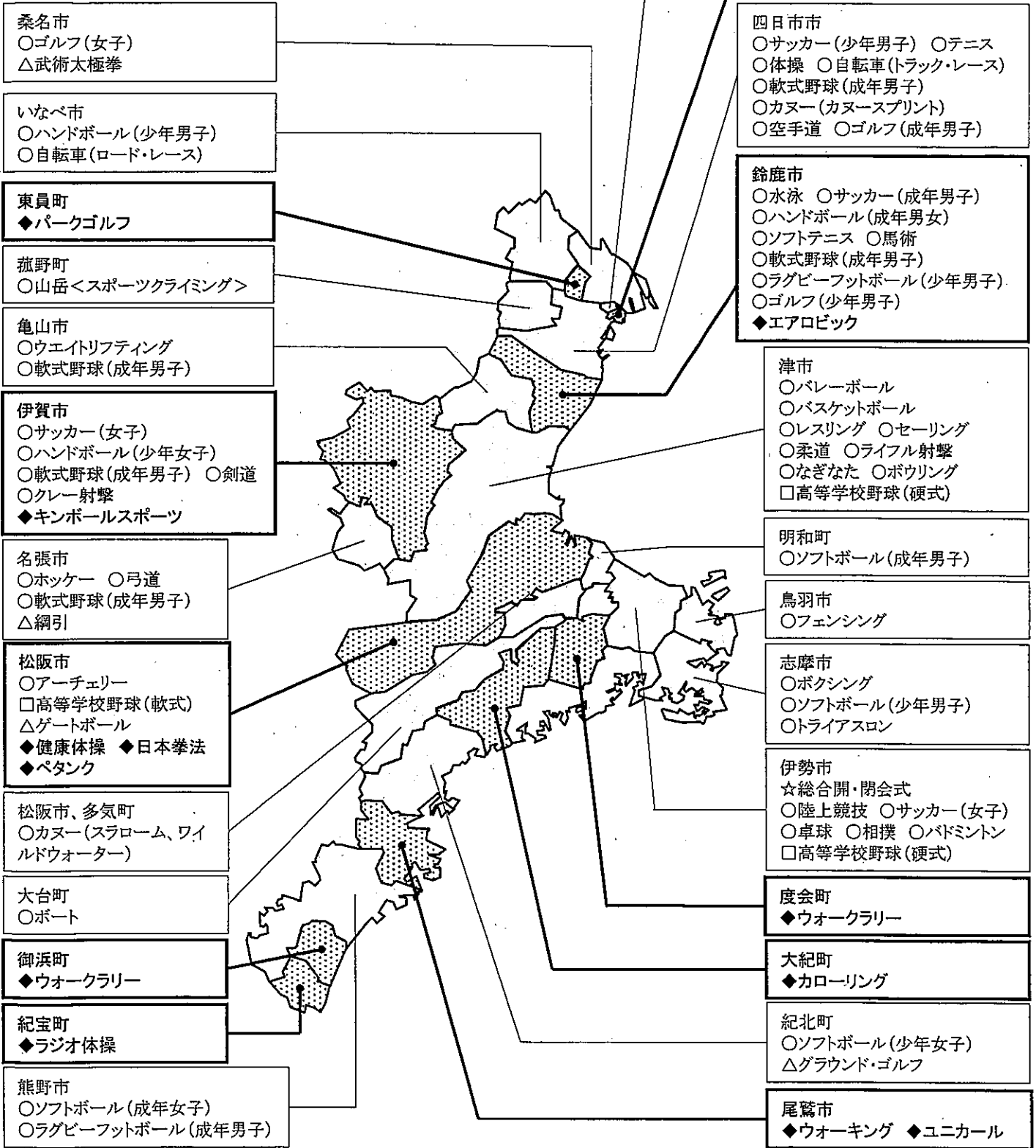
【これまでの会場地市町選定状況】

- ☆:総合開・閉会式・・ 1市 ○:正式競技・・18市町 37競技
- :特別競技・・ 3市 1競技 △:公開競技・・ 5市町 5競技

【会場地市町選定(案)】

- ◆:デモンストレーションスポーツ・・10市町 12競技

【注】競技名の後の()は、全種別以外の種別又は種目名



平成30年度全国高等学校総合体育大会の準備状況について

1 全国高等学校総合体育大会

全国高等学校体育連盟（昭和23年発足）が、全国各地で個別に開催されていた競技種目別選手権大会を、昭和38年度の新潟大会から統合して誕生した大会であり、現在では、規模及び内容において高校生最大のスポーツの祭典に発展し、夏季大会及び冬季大会が開催されています。

平成22年度の沖縄県までは、県単独開催されてきましたが、平成23年度より、全国を9つの地域に分け、ブロック開催として行われています。

(1) 開催状況

| 年度 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|------|------|-----|------|-----|-----|-----|------|
| ブロック | 北部九州 | 南関東 | 近畿 | 中国 | 南東北 | 東海 | 南九州 |
| 主会場県 | 大分県 | 東京都 | 和歌山県 | 岡山県 | 山形県 | 三重県 | 鹿児島県 |

2 平成30年度全国高等学校総合体育大会概要

(1) 大会期間【競技日程は別紙参照】

平成30年7月26日（木）～8月20日（月）

(2) 総合開会式

期日：平成30年8月1日（水） 会場：三重県営サンアリーナ

(3) 開催競技（東海ブロックでは29競技32種目）

| | |
|-------------------------|--|
| 三重県 (15種目) ※総合開会式 | 陸上競技、水泳（水球）、バレーボール男子、バレーボール女子、ソフトテニス、ハンドボール、サッカー男子、ソフトボール、柔道、剣道、レスリング、テニス、登山、ウエイトリフティング、なぎなた |
| 愛知県 (6種目) | 水泳（競泳・飛込）、バスケットボール、卓球、ボート、フェンシング、少林寺拳法 |
| 静岡県 (6種目) | 体操（体操競技・新体操）、サッカー女子、バドミントン、相撲、弓道、自転車競技（ロード・トラック） |
| 岐阜県(5種目) | ボクシング、ホッケー、空手道、アーチェリー、カヌー |

*ヨット競技のみH27からH36まで和歌山県にて固定開催

(4) 参加者見込数（大会補助員含む）

| | 東海4県 | うち三重県 |
|------------|-----------|-----------|
| 選手・監督（実人数） | 約 36,000人 | 約 18,400人 |
| 大会役員（実人数） | 約 9,200人 | 約 4,000人 |
| 大会補助員（実人数） | 約 13,400人 | 約 6,600人 |
| 観客（延べ人数） | 約607,200人 | 約341,800人 |

※平成24年度から28年度開催の平均人数より算出

2 東海4県での取組（共通項目を共催県で分担）

- ・東海4県準備委員会、連絡協議会の開催（三重県）
- ・総体NEWSの発行（各県順番に作成）
- ・総合ホームページでの周知（自県分を担当、取りまとめは三重県）
- ・大会ハンドブック（静岡県）
- ・参加章（愛知県）、入賞メダル（岐阜県）
- ・報道のしおり、大会報告書（三重県）

3 競技種目別大会

① 各会場地市町の実行委員会設立予定

競技種目別大会の準備（運営体制整備、競技会場、練習会場及び競技用具の準備、仮施設等々の整備、運輸・交通計画、防災・危機管理対策、大会運用マニュアルの作成など）を進めるため、会場地市町がそれぞれ実行委員会を設立予定。

平成29年4月：鈴鹿市(19日)、伊賀市(22日)、

亀山市、熊野市、菰野町

5月：四日市市(1日)、伊勢市(8日)、津市(10日)

② 競技担当教員の派遣

開催準備業務を中心となって従事する競技担当教員を指定し、会場地市町と協力しながら競技種目別大会の円滑な準備及び運営を図ります。

③ 役員・補助員等の養成

大会における競技の公正と円滑な大会運営を図るため、競技役員、審判員、競技補助員等を養成します。

④ 大会運営費

競技種目別大会の運営経費について、会場地市町及び高体連競技専門部との協議・調整、試算を行い、平成29年7～8月に定めます。

4 総合開会式

日時：平成30年8月1日（水）10:00～12:00

会場：県営サンアリーナ

参加者：選手、監督、役員、招待者、観覧者及び演技者含め5,000人。

内容：選手団入場行進のあと、挨拶、祝辞、選手宣誓などの式典を行い、その後、翌日からの大会に向けて選手団の活力となるように、三重県の高校生が一体となって力強い歓迎演技を行います。

平成29年度は、歓迎演技・式典演奏の練習を行うとともに、以下の取組を行います。

① 式典前映像

総合開会式前に参加者に見ていただくため、東海4県の魅力と開催競技、競技会場等を紹介する映像作品を共催県と協働で高校生が制作します。

② 式典放送

高校生による式典アナウンサーを編成し、総合開会式の司会・進行を行うための準備をします。

③ 草花装飾

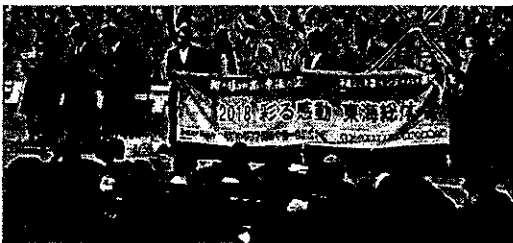
総合開会式会場での立体装飾等や各競技会場でのプランターによる草花装飾を実施するため、県内の農業高校等において試験栽培を実施します。

5 高校生活動

高校生活動とは、競技に出場「する」高校生だけではなく、「支える」観点から高校生が積極的に大会の成功に向けて企画・準備・運営に自らの創意工夫をもって取り組む多様な活動のこと。

① 広報活動

・学校推進委員会（県高体連加盟の県立・私立の高等学校 68 校）を中心に各校独自の P R 活動、環境美化活動を実施（H28:延べ 37 回実施）。



・北・中・南の各地区推進委員会（各学校推進委員会代表生徒 68 人で構成）にて地区内のショッピングセンター、各種イベント、祭りなどに出向いて P R 活動を実施（H28: 5 回の P R 活動を実施）。

・引き続き上記 P R 活動を行うとともに、今後、ローカル T V、ケーブル T V、ラジオ等に出演して大会の P R を実施していく予定。

② 300 日前イベント

平成 29 年 10 月 1 日（イオンモール東員）、10 月 8 日（南地区商業施設）、11 月 4 日（イオンモール鈴鹿）において、高校生による啓発イベントを実施予定。先催県からの「花の種」伝達式を行います。

③ 記念品

県内競技種目の選手・監督約 18,000 人に高校生による手作り記念品を配付する。高校生活動県推進委員会において『伊賀組み紐のミサンガ』に決定したので、今後、色・デザイン、応援台紙などの検討を進めます。

④ 制作物、販売・紹介、その他おもてなし活動

- ・ 県内工業高校：投擲運搬車（陸上競技で使用）、カウントダウンボード、総合案内所ブースの制作など。
- ・ 県内農業高校等：大型立体草花装飾、フラワーアレンジメント、プランターの製作など。

その他、高校生による大会当日の会場での物販やおもてなし活動を検討中。

6 おもてなし

○ 三重県における予想宿泊延べ人数

約140,000人（観客等（保護者等）を除く）

① 宿泊施設

全国高体連の委託業者と連携し、選手の移動時間を考慮に入れて各競技会場地に近い市町から確保を進め、不足分について周辺市町へ広げていきます。（一泊二食が原則）

また、全国から高校生アスリートを迎えることから、おもてなしの向上、スポーツ選手特有の受入体制への働きかけを行います。（研修会・説明会（歓迎ムードの演出、食事、体重計・洗濯機等の重要性の説明など）の実施など）

② 交通機関（タクシー含む）

利用増大が見込まれることから、交通事業者への大会情報の提供による協力体制の構築及び大会関係者、観客等の公共交通機関等の利用促進方策の検討。

③ 昼食弁当

選手・監督・大会役員、補助員等に提供する弁当への県産食材使用について、弁当調達業者と協議・検討中。（今後、各県の弁当調整施設を決定予定。）

（中国総体においては、岡山県で約47,000食、全体で約167,000食提供）

④ 地元企業等の協力

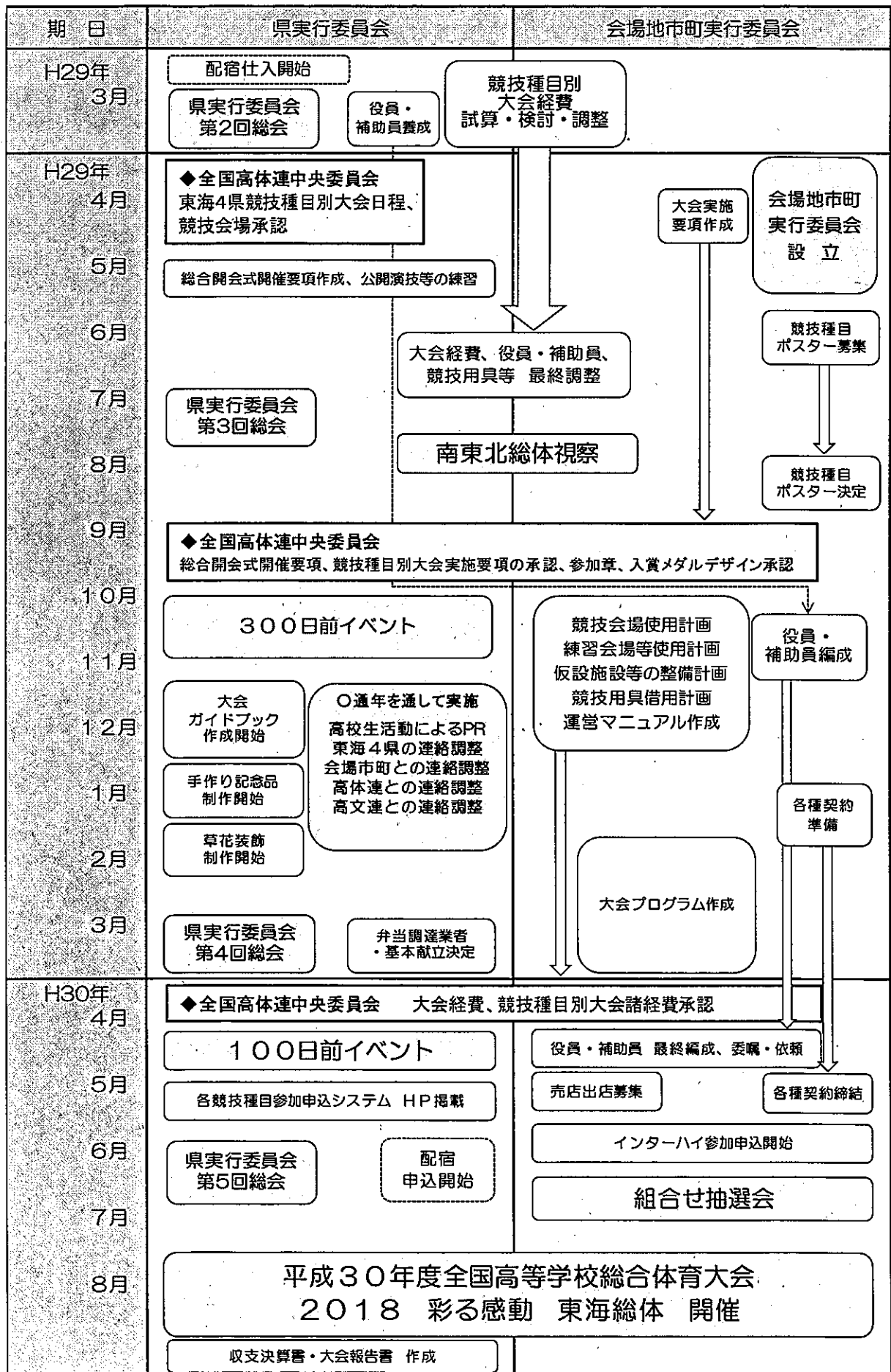
- ・ 会場売店等における物産販売に関し、会場地市町との連携による出店協力の依頼。
- ・ 三重県産食材の振る舞い（伊勢茶PRなど）の検討。
- ・ インターハイ関連商品の開発・販売依頼の検討。
- ・ 高校生と地元企業のコラボ商品、商品パッケージ等の作成・販売の検討（現在も高校生とのコラボ商品あり）。

⑤ 観光誘客

選手、監督、役員以外の来県者（観客）の多くは、選手の家族や応援の学校関係者（先生・生徒、OB・OG）等であることから、大会開催前～開催中にかけて、下記の取組を実施。

- ・大会ホームページに会場地（市町）の観光や特産品（物）、飲食店等の情報を載せる「観光・おもてなし」のページを作成。県の観光サイトへも誘導を行うとともに、来県する監督、役員、観客の多くが見る大会ホームページの中の大会日程、会場地・競技施設案内等のページに、「観光・おもてなし」のバナーを添付し、当該ページへ誘導する。
- ・平成30年7月に開催される全国高体連理事長会議において、上記ホームページをPRするとともに、県の観光案内パンフ等を配布する。
- ・大会会場における観光パンフレットや飲食店情報マップの配布
- ・配布物（例えば、みえ食旅パスポート・インターハイ版等）にQRコードを付けて、会場近辺の情報を載せる。
- ・フェイスブック等のSNSを活用した情報の提供

平成30年度全国高等学校総合体育大会 開催準備スケジュール



平成30年度全国高等学校総合体育大会競技会場・競技日程(案) (H29.2.21現在)

| 県名 | 競技種目 | 会場地 市町名 | 競技会場 | 7月 | | | | | | | 8月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|----------|-------------------------------|----------------------------------|------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--|
| | | | | 26 木 | 27 金 | 28 土 | 29 日 | 30 月 | 31 火 | 1 水 | 2 木 | 3 金 | 4 土 | 5 日 | 6 月 | 7 火 | 8 水 | 9 木 | 10 金 | 11 土 | 12 日 | 13 月 | 14 火 | 15 水 | 16 木 | 17 金 | 18 土 | 19 日 | 20 月 | |
| 三重県 | 総合開会式 | 伊勢市 | 三重県営サンアリーナ | | | | | | | ◎ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 陸上競技 | 伊勢市 | 三重交通Gスポーツの杜伊勢 陸上競技場 | | | | | | | | | ■ | ● | ● | ● | ◆ | | | | | | | | | | | | | | |
| | 水泳(水球) | 鈴鹿市 | 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿 水泳場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ■ | ● | ● | ◆ | |
| | バレーボール | 男子 | 伊勢市 | 三重県営サンアリーナ | ○ | ● | ● | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 津市 | 三重交通Gスポーツの杜伊勢 体育館 | ● | ● | ● | ◆ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女子 | 津市 | 三重県総合文化センター | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ソフトテニス | 津市 | 津市立立派中学校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿 庭球場 | | | | | ○ | ● | ● | ◆ | ○ | ● | ● | ◆ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 三重県総合文化センター | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ハンドボール | 津市 | サオリーナ | | ● | ● | ● | ● | ◆ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 安濃中央総合公園内体育館 | ● | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 三重県立津高等学校 | ● | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿 体育館 | ● | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | サッカー | 男子 | 鈴鹿市民会館 | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿 メイングラウンド | | | | | | | | | | | | | | | ● | ● | | | | | | | | | | | |
| | | | 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿 第2グラウンド | | | | | | | | | | | | | | | ● | ● | ● | | | | | | | | | | |
| | | | 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿 第4グラウンド | | | | | | | | | | | | | | | ● | ● | ● | | ● | ● | | | | | | | |
| | | | 四日市中央緑地公園陸上競技場 | | | | | | | | | | | | | | | ● | ● | ● | | ● | ● | | | | | | | |
| | | | 四日市中央緑地公園(人工芝1・2) | | | | | | | | | | | | | | | ● | ● | | | | | | | | | | | |
| | | | 伊勢フットボールヴィレッジ(A・Bピッチ) | | | | | | | | | | | | | | | ● | ● | ● | | | | | | | | | | |
| | ソフトボール | 熊野市 | 伊勢フットボールヴィレッジ(Cピッチ) | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 上野運動公園競技場 | | | | | | | | | | | | | | ● | ● | ● | | | | | | | | | | | |
| | 柔道 | 津市 | サオリーナ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 剣道 | 伊勢市 | 三重県営サンアリーナ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | レスリング | 津市 | メッセウイング・みえ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | テニス | 四日市市 | 鈴鹿市民会館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿 メイングラウンド | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ● | ● | ● | ● | ◆ | | | | | | | |
| 三滝テニスコート | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | | | | | | | | |
| 登山 | 強野町 | 三重県立強野高等学校/強野町民センター | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 三重県民の森(幕巻地) | | | | | | | | | | | | | | | ■ | ● | ● | ● | | | | | | | | | | |
| ウエイトリフティング | 亀山市 | 鈴鹿山崎一考(三池池、新池ヶ谷、田見岳、御在所山、緑ヶ谷) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 亀山市文化会館 | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| なぎなた | 津市 | 津市久居体育館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 岐阜県 | ボクシング | 岐阜市 | OKBびふ清流アリーナ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ホッケー | 各務原市 | 川崎重工ホッケースタジアム | ○ | ● | ● | ● | ◆ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 空手道 | 岐阜市 | 岐阜メモリアルセンターで愛ドーム | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | アーチェリー | 高山市 | 中山公園陸上競技場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | カヌー | 海津市 | 長良川国際レガッタコース | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 静岡県 | 体操 | 体操競技 | 静岡市 | 静岡県県総合運動場体育館(このはなアリーナ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 新体操 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | サッカー | 女子 | 藤枝市民会館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 藤枝総合運動公園サッカー場 | | | | | | | | | | | | | | | ● | ● | ● | ◆ | | | | | | | | | |
| | | | 藤枝総合運動公園陸上競技場 | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | | | | | | | |
| | | | 藤枝総合運動公園多目的広場人工芝広場 | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | | | | | | | |
| | バドミントン | 浜松市 | 浜松アリーナ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 相撲 | 沼津市 | 浜松市浜北総合体育館(グリーンアリーナ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ふじのくに千本松フォーラム「ブラサヴェルデ」 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 弓道 | 袋井市 | 小笠山総合運動公園エコバアリーナ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自転車競技 | ロード | 伊豆市 | 日本サイクルスポーツセンター5キロサーキットコース | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | トラック | | 日本サイクルスポーツセンター333メートルトラック、日本競輪学校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 愛知県 | 水泳 | 競泳 | 名古屋市 | 日本ガイシスポーツプラザガイシアリーナ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 飛込 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | バスケットボール | 男子 | 一宮市 | 一宮市総合体育館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 男子 | 名古屋市 | 愛知県体育館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女子 | 小牧市 | パークアリーナ小牧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 卓球 | 豊田市 | スカイホール豊田 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ボート | 東郷町 | 東郷町総合体育館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フェンシング | 知多市 | 愛知池邊競技場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 少林寺拳法 | 西尾市 | 知多市勤労文化会館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 和歌山県 | ヨット | 和歌山市 | 和歌山セーリングセンター | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

◎:総合開会式 ○:競技種目別開会式 ■:競技種目別開会式後競技 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20
 ●:競技 ◆:競技終了後開会式 □:閉会式 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月



三重とこわか国体

第76回国民体育大会 ときめいて人 かがやいて未来 2021